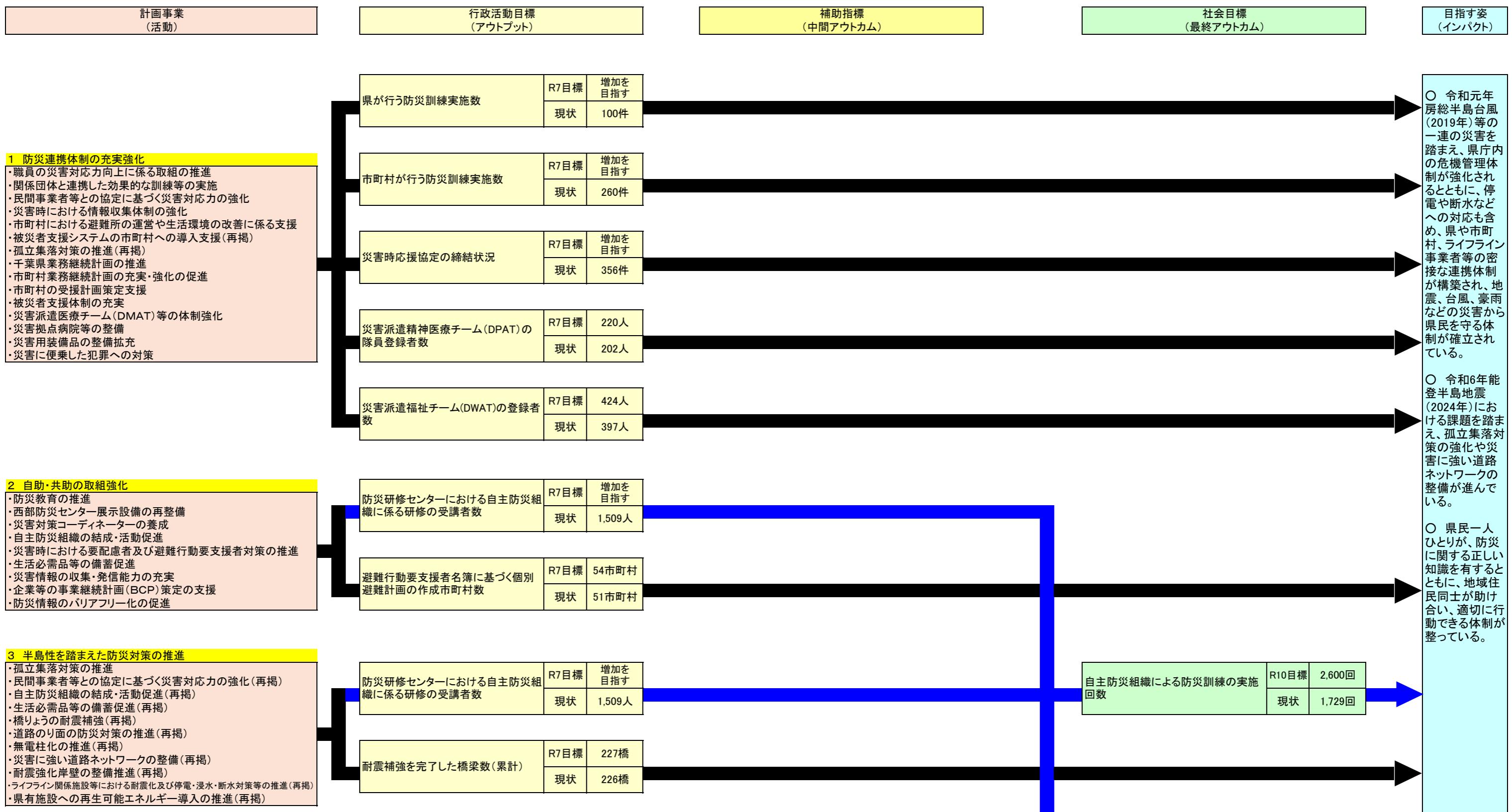
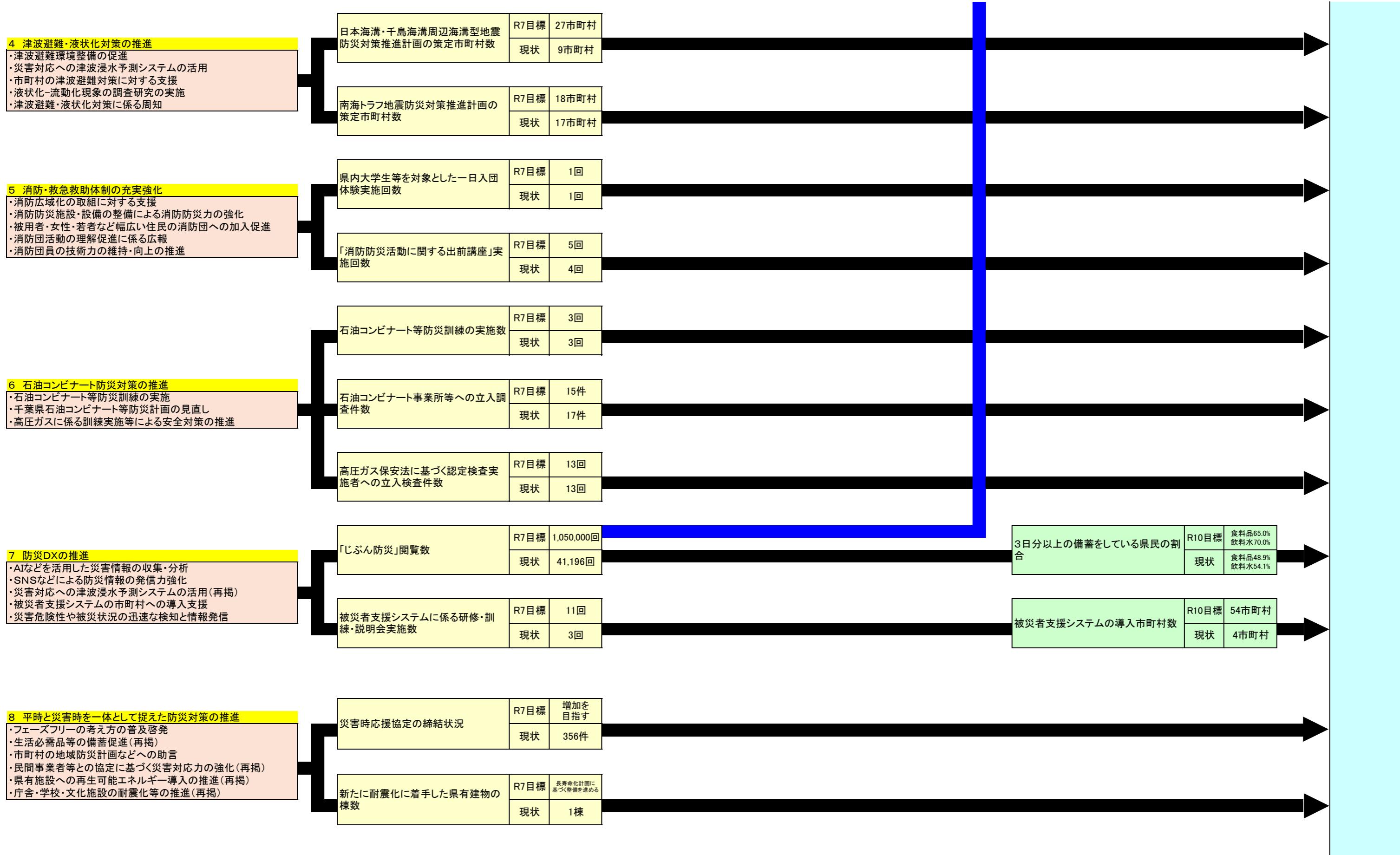


【ロジックモデル】

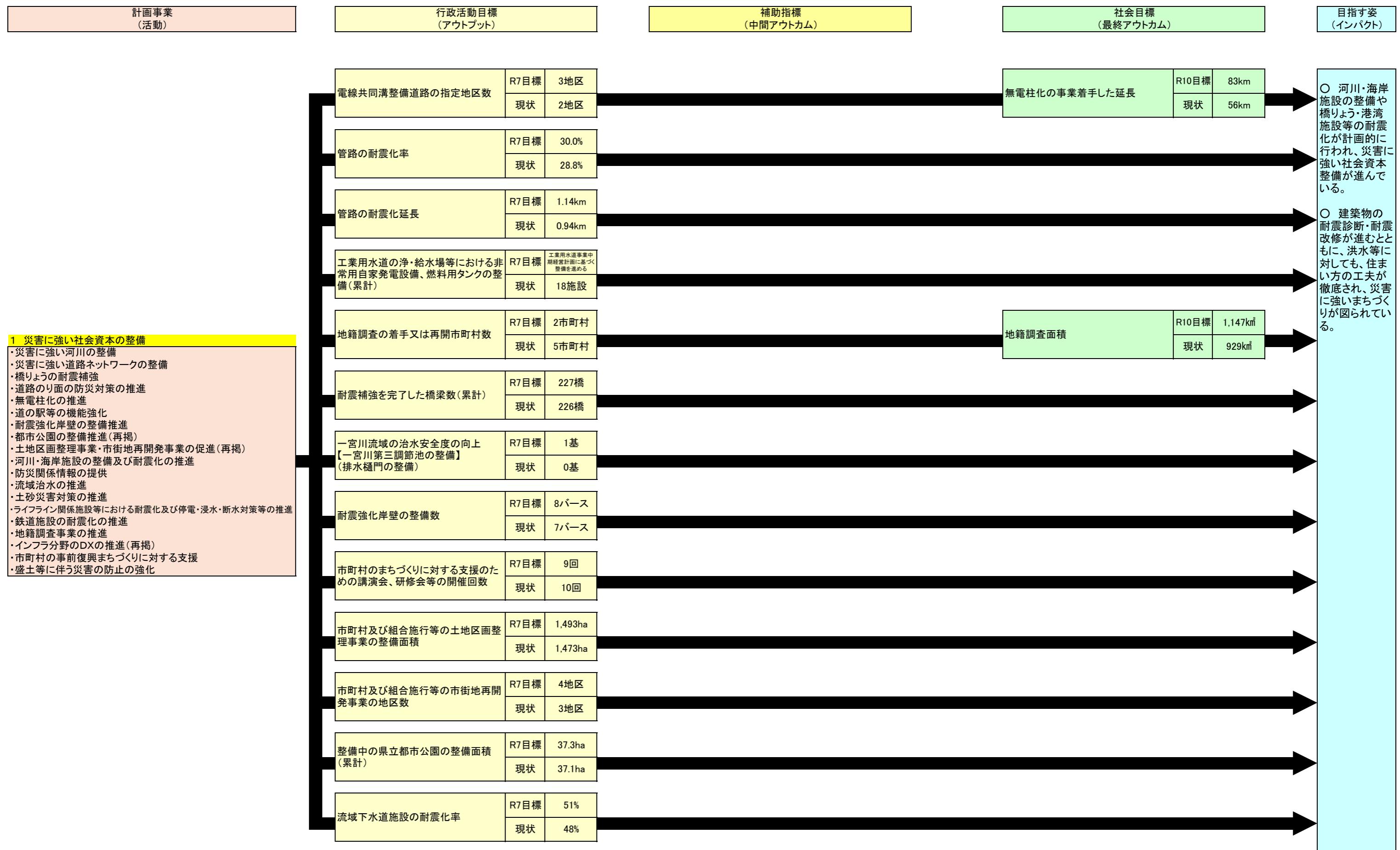
施策項目 I-1-① 激甚化する災害への対応力強化

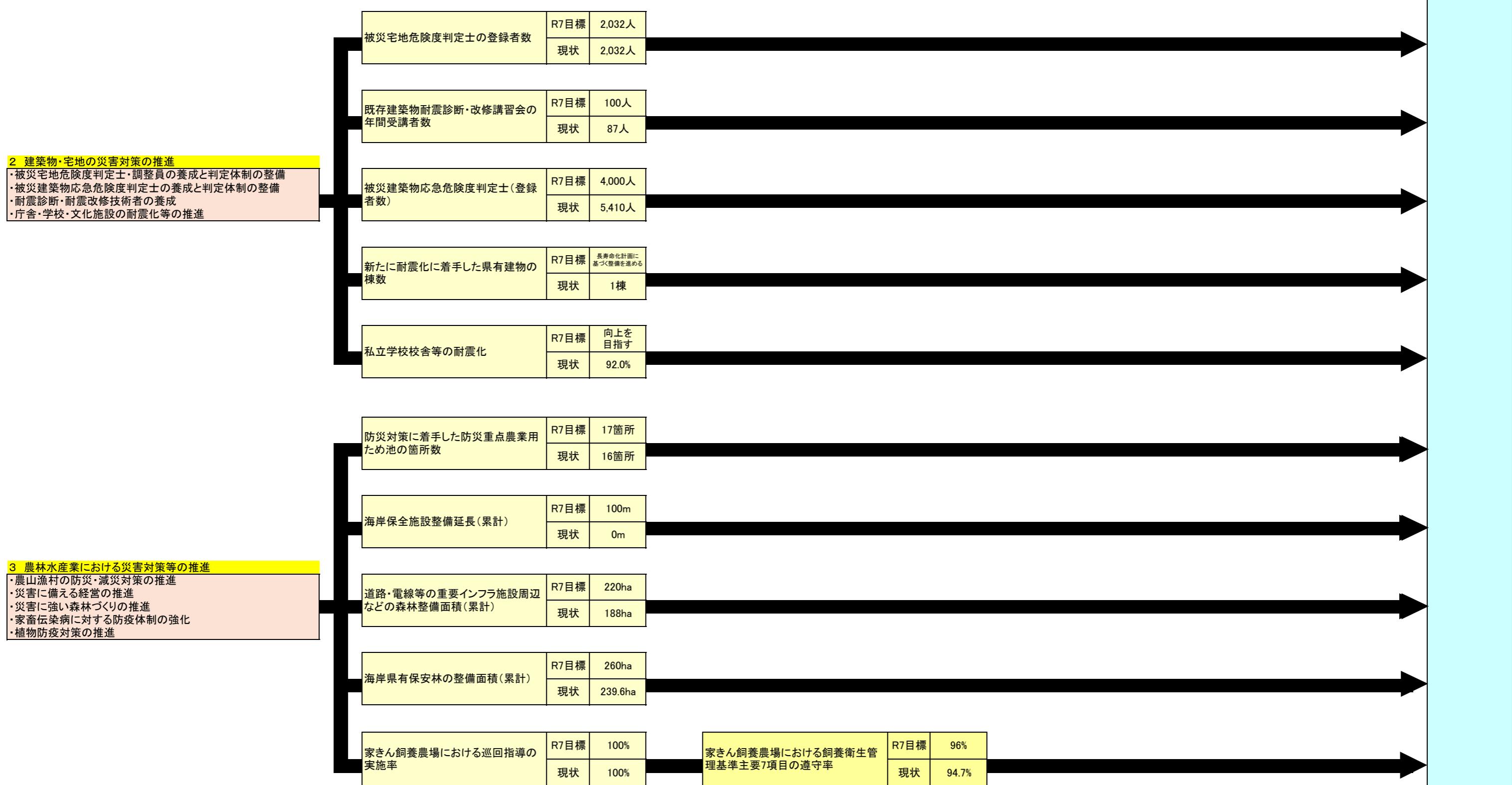




【ロジックモデル】

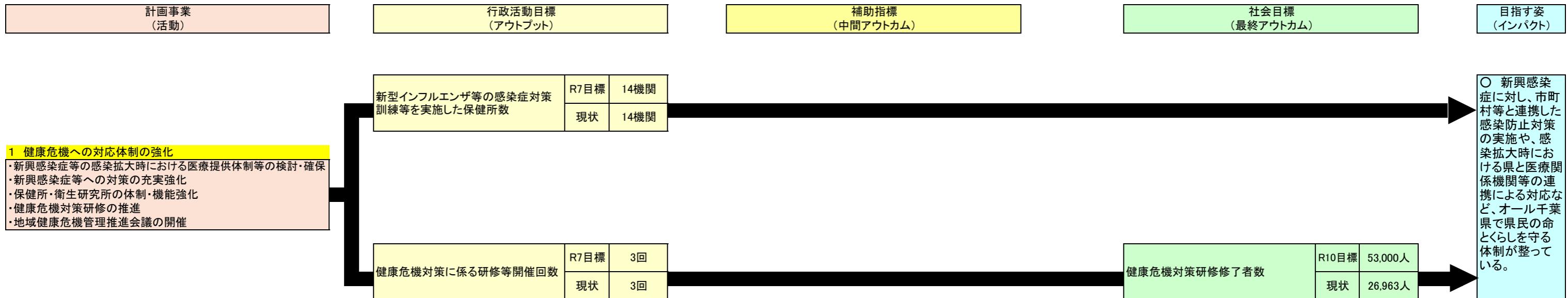
施策項目 I-1-② 災害に強いまちづくりの推進





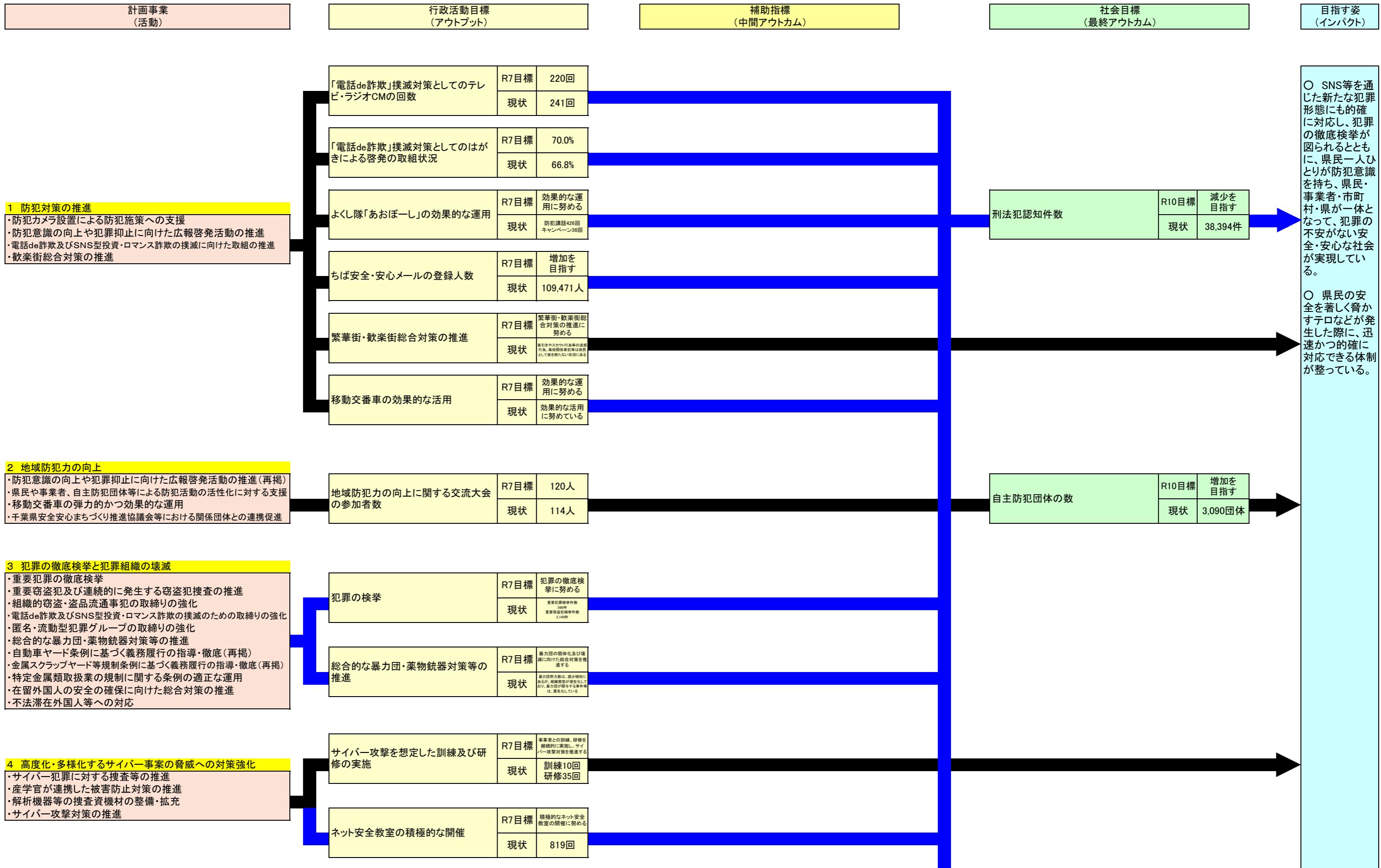
【ロジックモデル】

施策項目 I-1-③ 新興感染症等健康危機への対応力強化



【ロジックモデル】

施策項目 I-2-① 新たな犯罪形態にも対応する犯罪の起りにくい社会づくりと被害者等支援の充実



5 テロの未然防止
<ul style="list-style-type: none"> ・不審情報の収集・分析と違法行為の取締りの徹底 ・「テロ対策ネットワーク・CHIBA」の活動の推進 ・関係機関と連携した水際対策の推進 ・テロを想定した訓練の実施 ・空港等の重要施設に対する警戒警備の実施

「テロ対策ネットワーク・CHIBA」の活動の推進と、官民一体となったテロ対処訓練の実施	R7目標	テロ、ゲリラの未然防止に努める
	現状	訓練:62回

6 警察基盤の整備
<ul style="list-style-type: none"> ・警察活動を支える人的基盤の強化 ・通訳・翻訳機能の強化 ・各種教養や実戦に即した訓練の推進 ・通信指令機能の強化 ・警察捜査のための装備資機材等の整備 ・警察署・交番・駐在所等の計画的な整備 ・警察情報通信基盤の計画的な整備強化 ・警察業務のDXの推進

警察署、交番、駐在所の計画的な整備	R7目標	計画的な整備に努める
	現状	建設計画:2交番・1駐在所 建設計画:2交番・1駐在所 建設計画:2交番・1駐在所
警察活動を支える人的基盤の強化	R7目標	警察活動を支える人的基盤の強化に努める
	現状	警察官:10,887人 警察官以外の職員:1,228人 非常勤職員:644人
各種教養や実戦に即した訓練の推進	R7目標	多様かつ広範な警察業務に対応するため、各種教養や実戦に即した訓練を継続して推進する。
	現状	多様かつ広範な警察業務に対応するため、各種教養や実戦に即した訓練を推進した。

7 DV・ストーカー防止と被害者支援の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・DVを許さない社会に向けた啓発・教育の推進 ・安全で安心できる相談・一時保護体制の充実 ・子どもの安全確保と支援 ・DV被害者支援のための体制強化 ・DV被害者の自立に向けた支援 ・市町村におけるDV対策の促進 ・DV・ストーカー事案等への迅速かつ的確な対応 ・DV・ストーカー被害者等の保護対策の推進

携帯用緊急通報装置の貸出人数	R7目標	被害者等に適時適切に貸出し、保護対策を推進する
	現状	142人

8 犯罪被害者等の支援の充実
<ul style="list-style-type: none"> ・犯罪被害者等に対する相談体制・支援の充実 ・県・市町村・民間支援団体等の関係機関と連携した犯罪被害者等への支援 ・性犯罪・性暴力被害者に対するワンストップ支援体制の充実 ・犯罪被害者等支援に従事する者的人材育成 ・市町村・民間支援団体に対する支援の充実 ・犯罪被害者等に対する県民・事業者の理解の促進

犯罪被害者遺族等の講演会の開催数	R7目標	計画的な開催に努める
	現状	18回

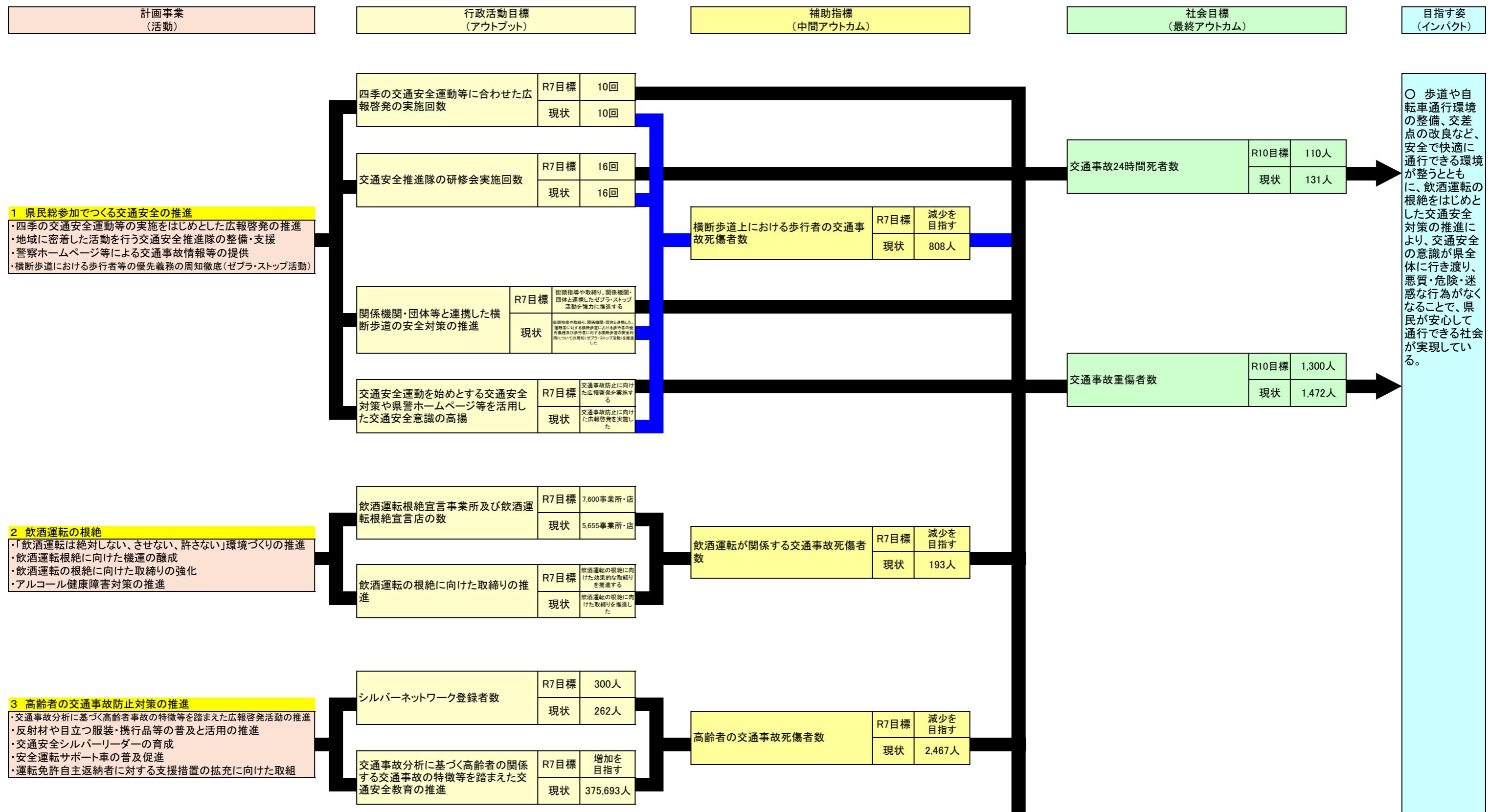
犯罪被害者週間啓発キャンペーン参加者数	R7目標	650人
	現状	602人

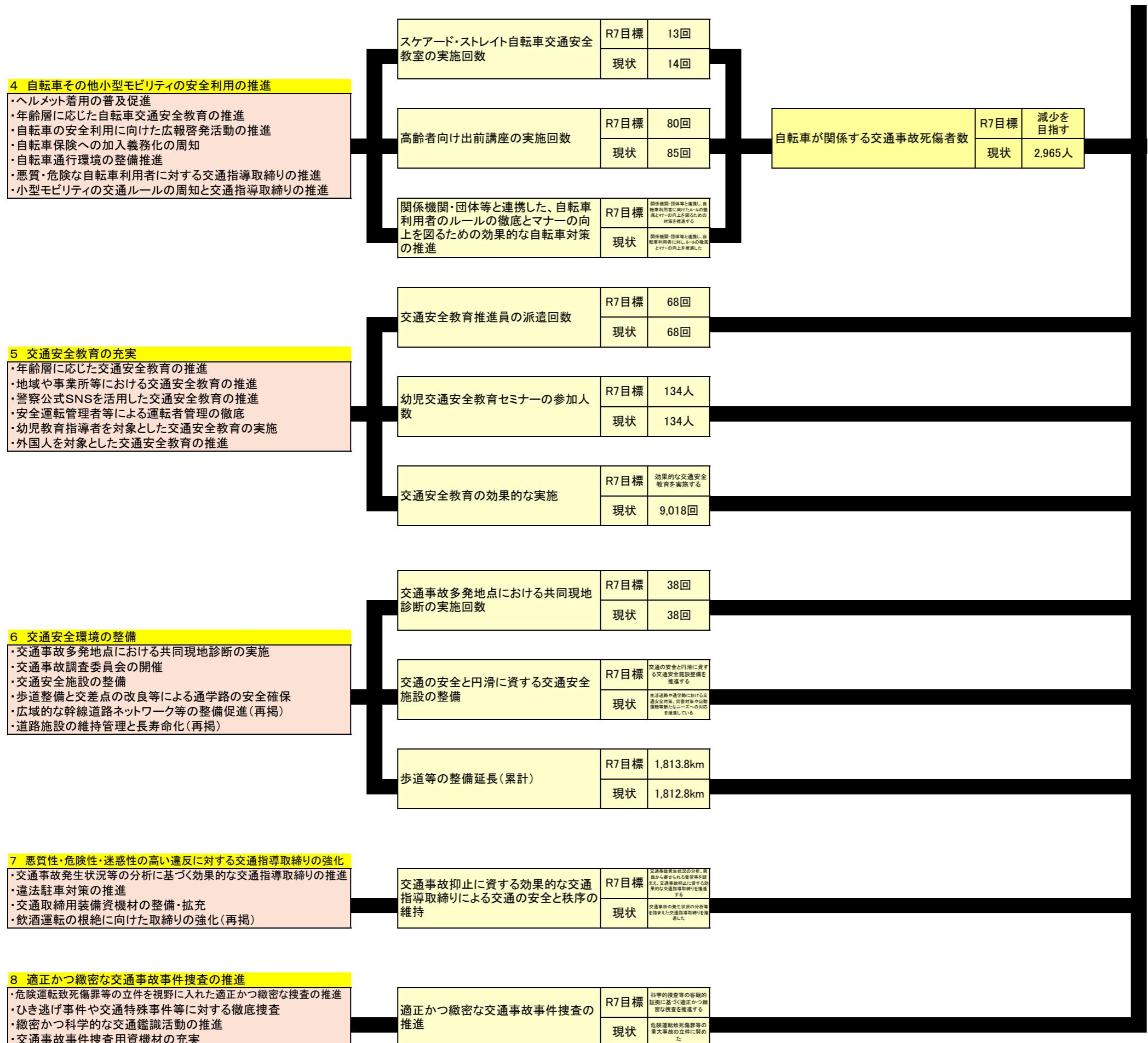
9 再犯防止対策
<ul style="list-style-type: none"> ・社会復帰に向けた包括的支援体制の整備 ・県・市町村・国・民間団体の連携強化 ・薬物乱用防止活動等の推進 ・暴力団の社会復帰支援 ・少年の立ち直り支援活動の推進(再掲) ・再犯防止に関する啓発活動の推進

再犯防止に係る相談支援の実施人数	R7目標	20人
	現状	10人

【ロジックモデル】

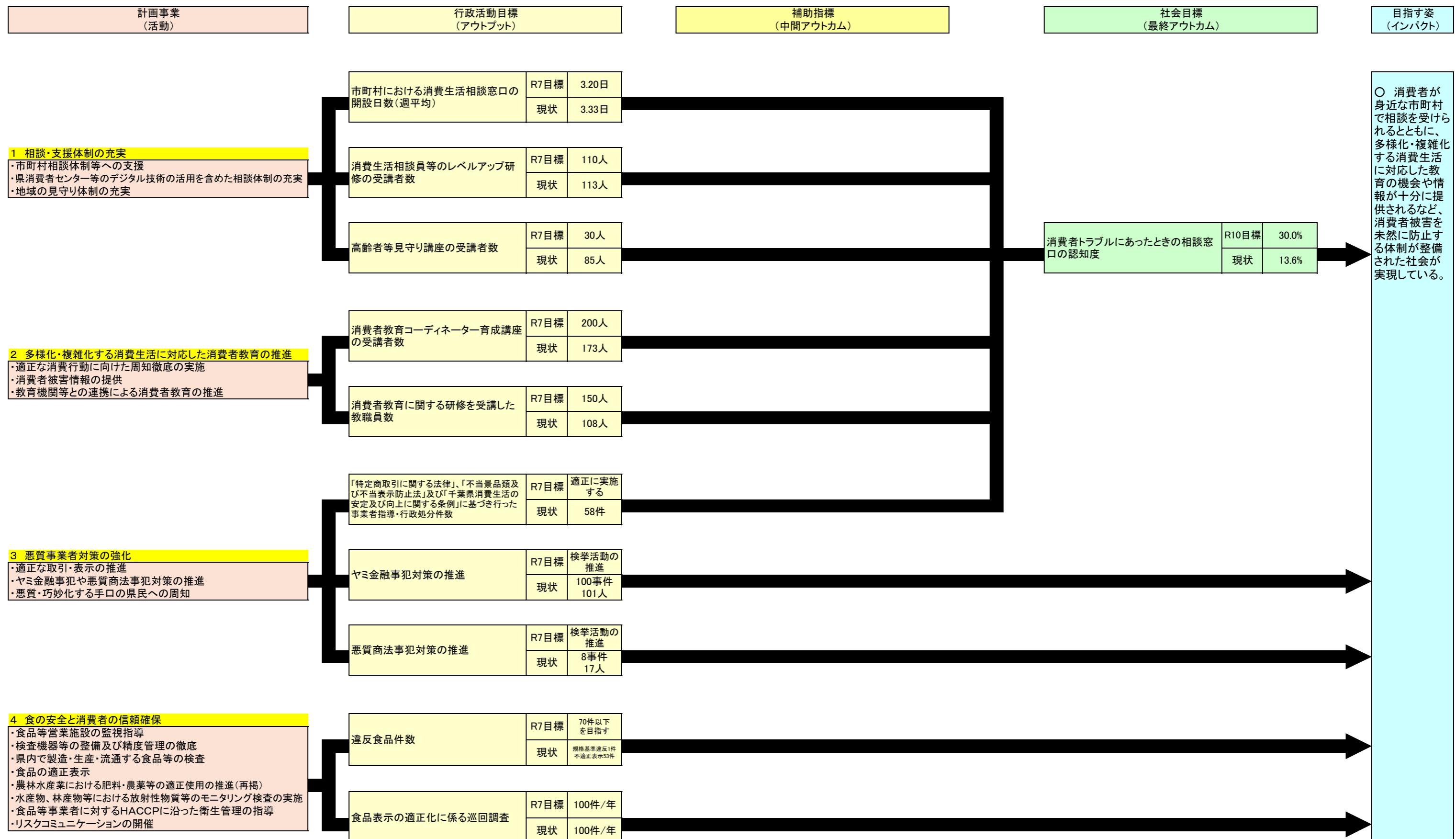
施策項目 I-2-② 「交通安全県ちば」の確立





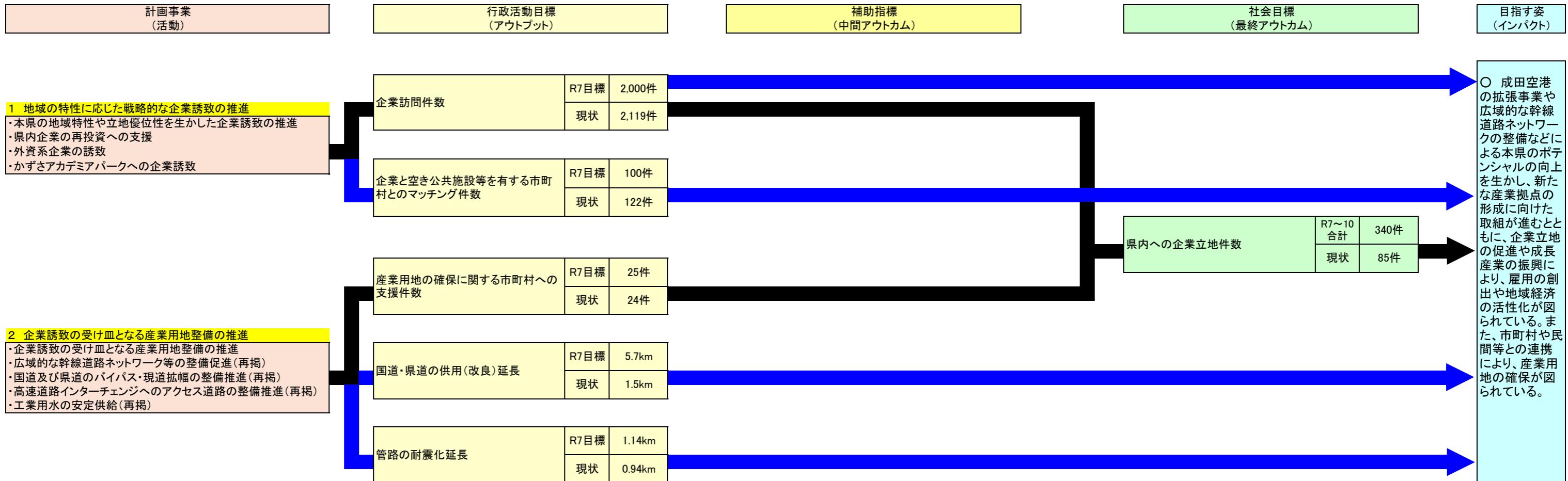
【ロジックモデル】

施策項目 I-2-③ 安全・安心な消費生活の確保



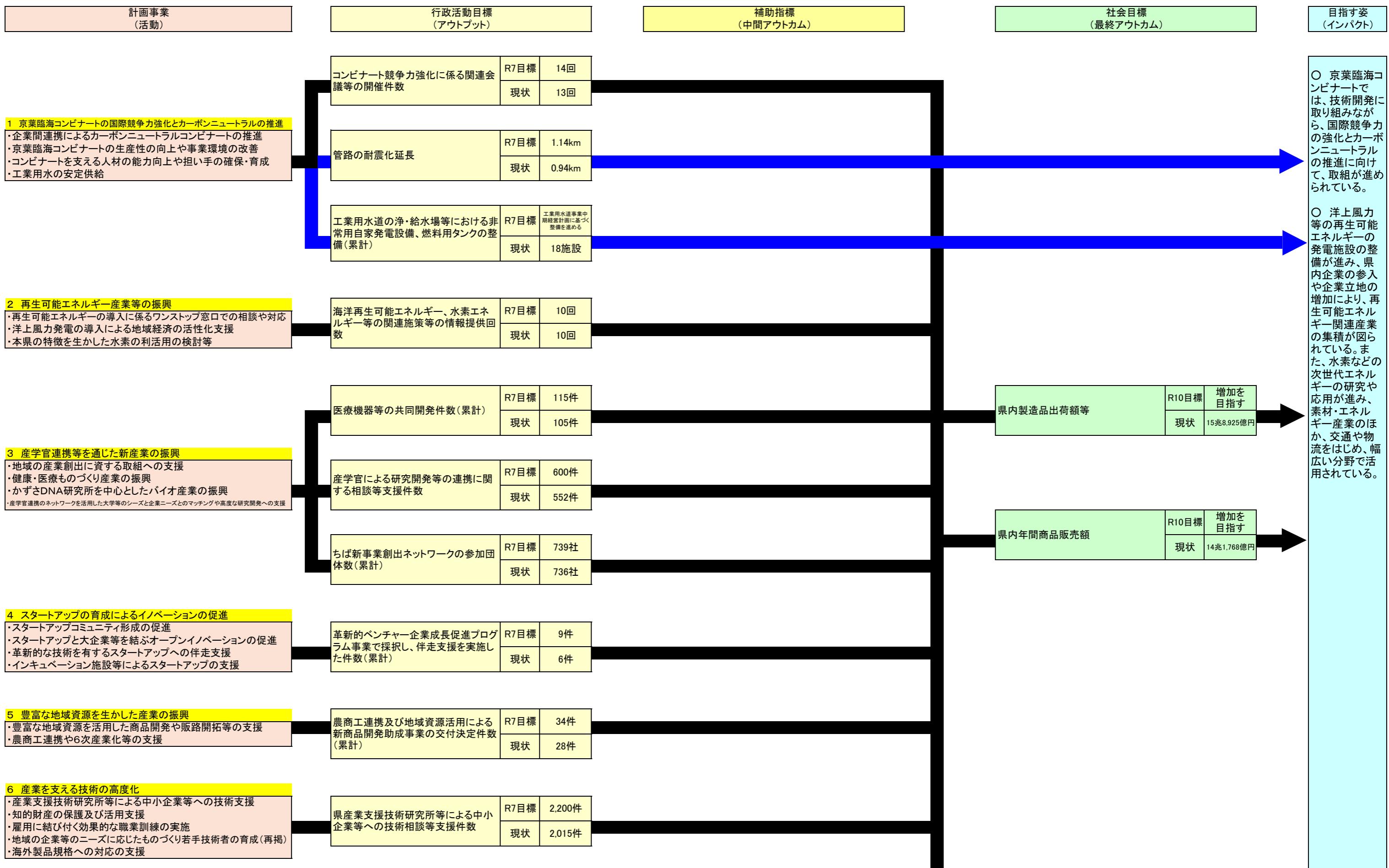
【ロジックモデル】

施策項目Ⅱ-1-① 新たな産業・地域づくりと企業誘致の推進



【ロジックモデル】

施策項目 II-1-② 県経済を担う産業の振興と育成



7 県内企業の海外取引・輸出の促進

- ・中小企業の海外販路開拓支援
- ・輸出入や海外進出の実務に関する個別相談への対応
- ・貿易実務や海外の市場動向等を解説するセミナーの開催
- ・海外に向けたPRと商談機会の創出
- ・国際ビジネスの専門家による実務支援

海外販路拡大に係る支援件数	R7目標	16件
海外販路拡大に係る支援件数	現状	17件

海外ビジネスセミナーの参加人数	R7目標	700人
海外ビジネスセミナーの参加人数	現状	681人

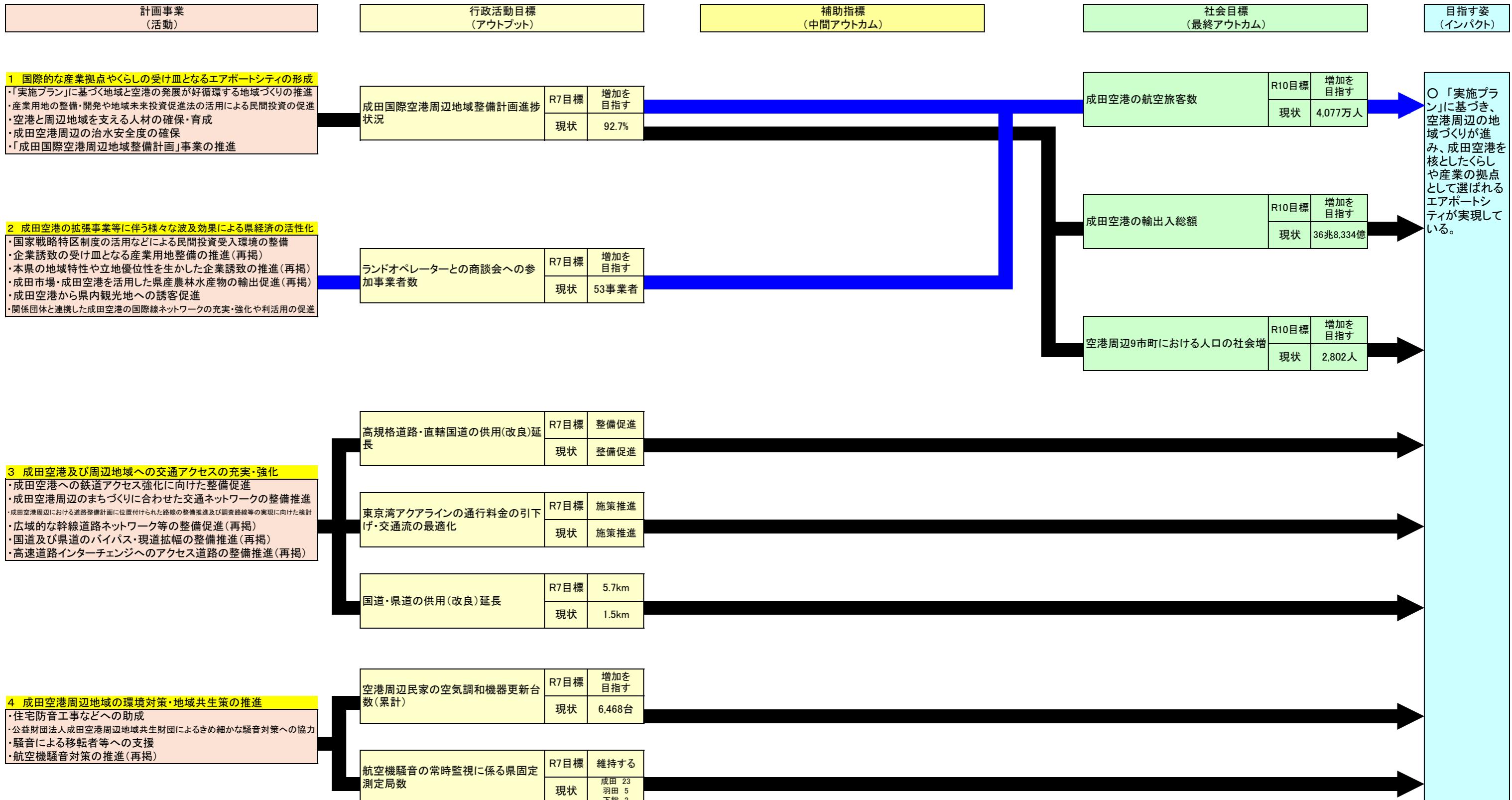
8 MICEの誘致促進と幕張メッセの競争力強化

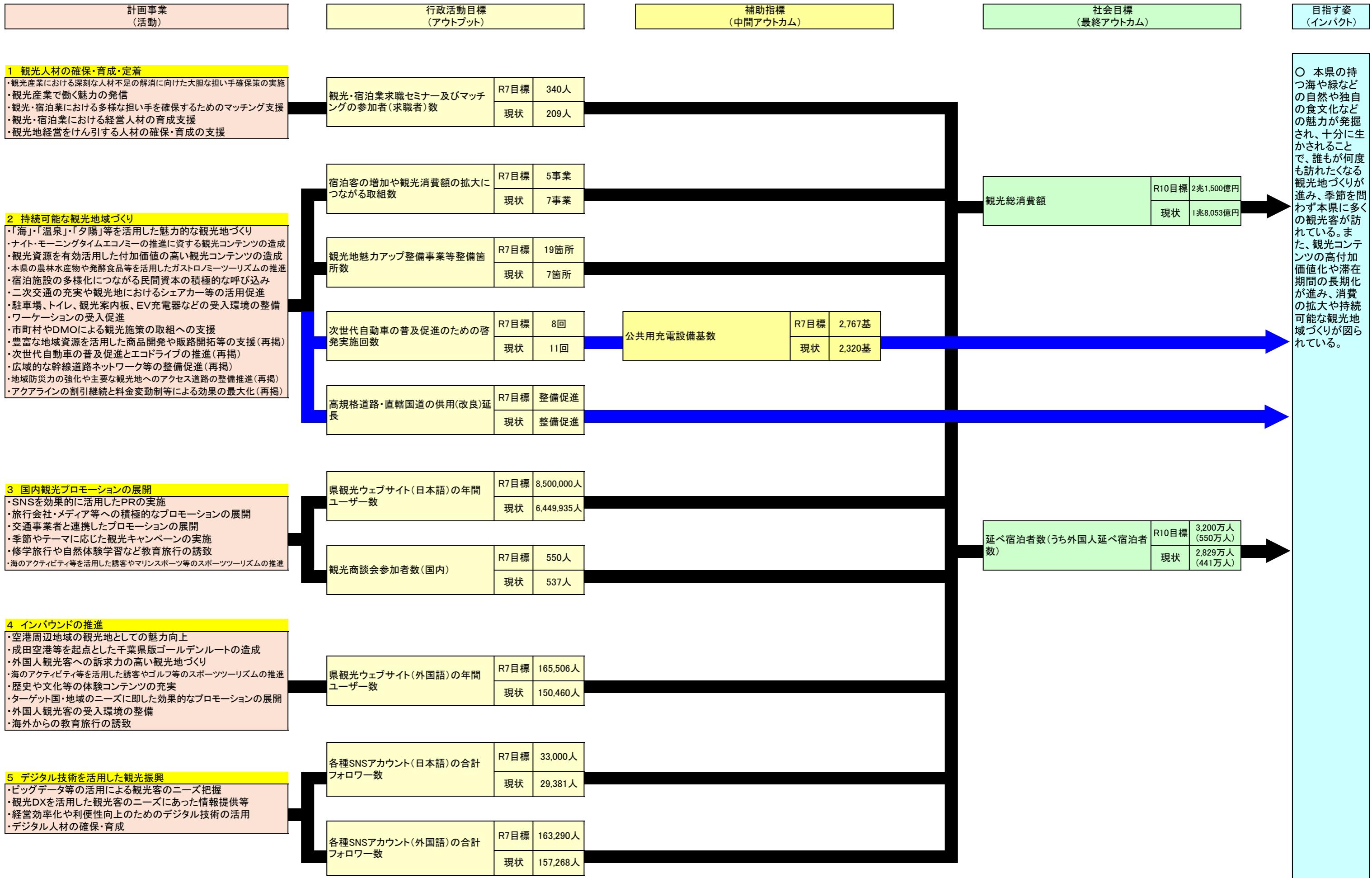
- ・公益財団法人ちは国際コンベンションビューローや市町村、MICE関係事業者など関係機関と連携したMICEの誘致・開催支援
- ・幕張メッセの機能向上と展示会・イベント等の積極誘致
 - ・幕張メッセ関連企業懇談会や幕張新都心まちづくり協議会等における関係企業・団体との連携促進

幕張メッセ来場者	R7目標	526万人
幕張メッセ来場者	現状	526万人

【ロジックモデル】

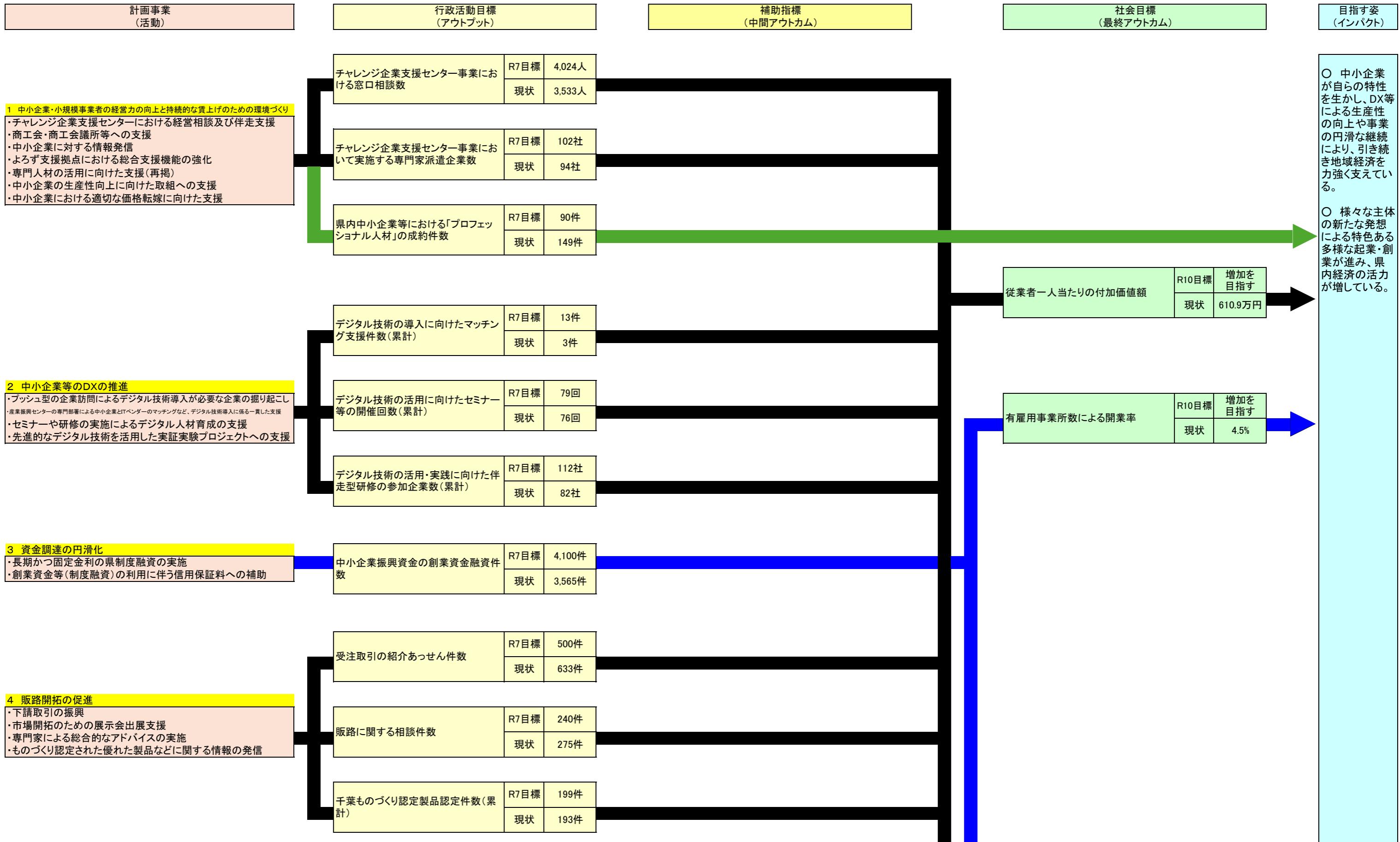
施策項目Ⅱ-1-③ 成田空港を核とした国際的な産業拠点の形成と地域づくり





【ロジックモデル】

施策項目Ⅱ-1-⑤ 中小企業・小規模事業者の経営基盤強化



5 起業・創業の促進

- ・チャレンジ企業支援センターにおけるワンストップ支援
- ・イベント等の開催による起業機運の醸成
- ・起業家の育成・経営支援、起業家同士による交流の促進
- ・若年層のアントレプレナーシップ向上支援
- ・創業資金等(制度融資)の利用に伴う信用保証料への補助(再掲)
- ・市町村における創業支援体制の整備推進

チャレンジ企業支援センター事業における創業に関する相談件数	R7目標	369件
	現状	366件

ちば起業支援事業における起業家大交流会の参加者数	R7目標	476人
	現状	387人

6 中小企業等の人材確保・育成支援

- ・中小企業への人材採用・定着支援
- ・外国人材の採用・定着支援
- ・雇用に結び付く効果的な職業訓練の実施(再掲)
- ・在職者への能力開発支援(再掲)
- ・障害者雇用の促進と定着支援
- ・専門人材の活用に向けた支援

県立テクノスクールにおける在職者訓練(ちば企業人スキルアップセミナー)事業の受講者数	R7目標	200人
	現状	163人

技能検定受検者の申請者数(随時実施分を除く)	R7目標	増加を目指す
	現状	2,377人

県内中小企業等における「プロフェッショナル人材」の成約件数	R7目標	90件
	現状	149件

7 事業承継支援

- ・千葉県事業承継・引継ぎ支援センター等と連携した支援強化
- ・市町村・金融機関・商工団体との連携強化

千葉県事業承継・引継ぎ支援センターにおける相談件数	R7目標	797件
	現状	770件

8 商店街の活性化支援

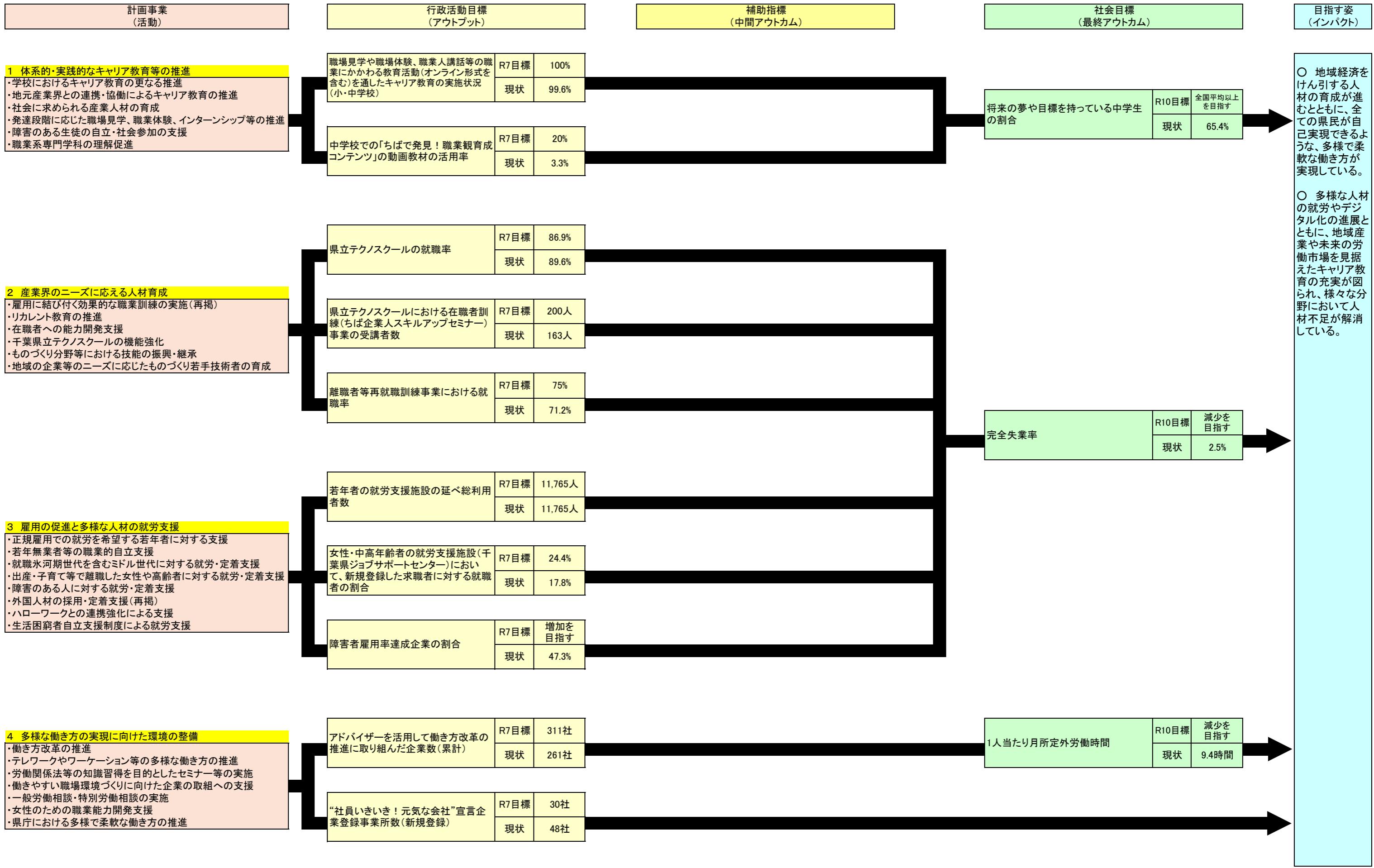
- ・商店街のにぎわいづくりへの支援
- ・商店街若手リーダーの育成
- ・商店街連合組織の機能強化
- ・「商業者地域貢献に関するガイドライン」による取組促進

地域商業活性化コーディネーター派遣回数	R7目標	40回
	現状	52回

商店街若手リーダーの養成数(累計)	R7目標	458人
	現状	445人

【ロジックモデル】

施策項目Ⅱ-1-⑥ 産業人材の育成と就労支援



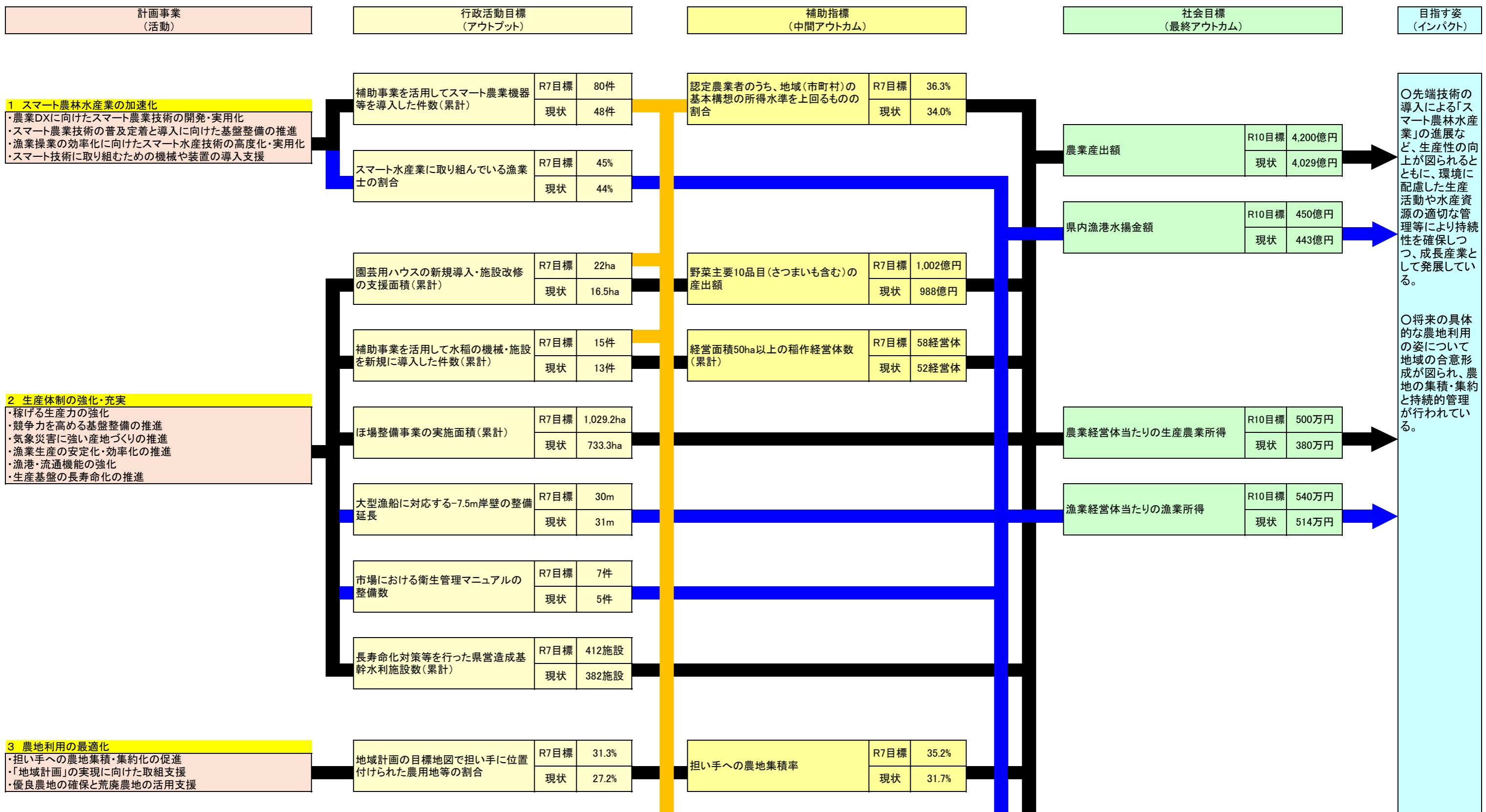
【ロジックモデル】

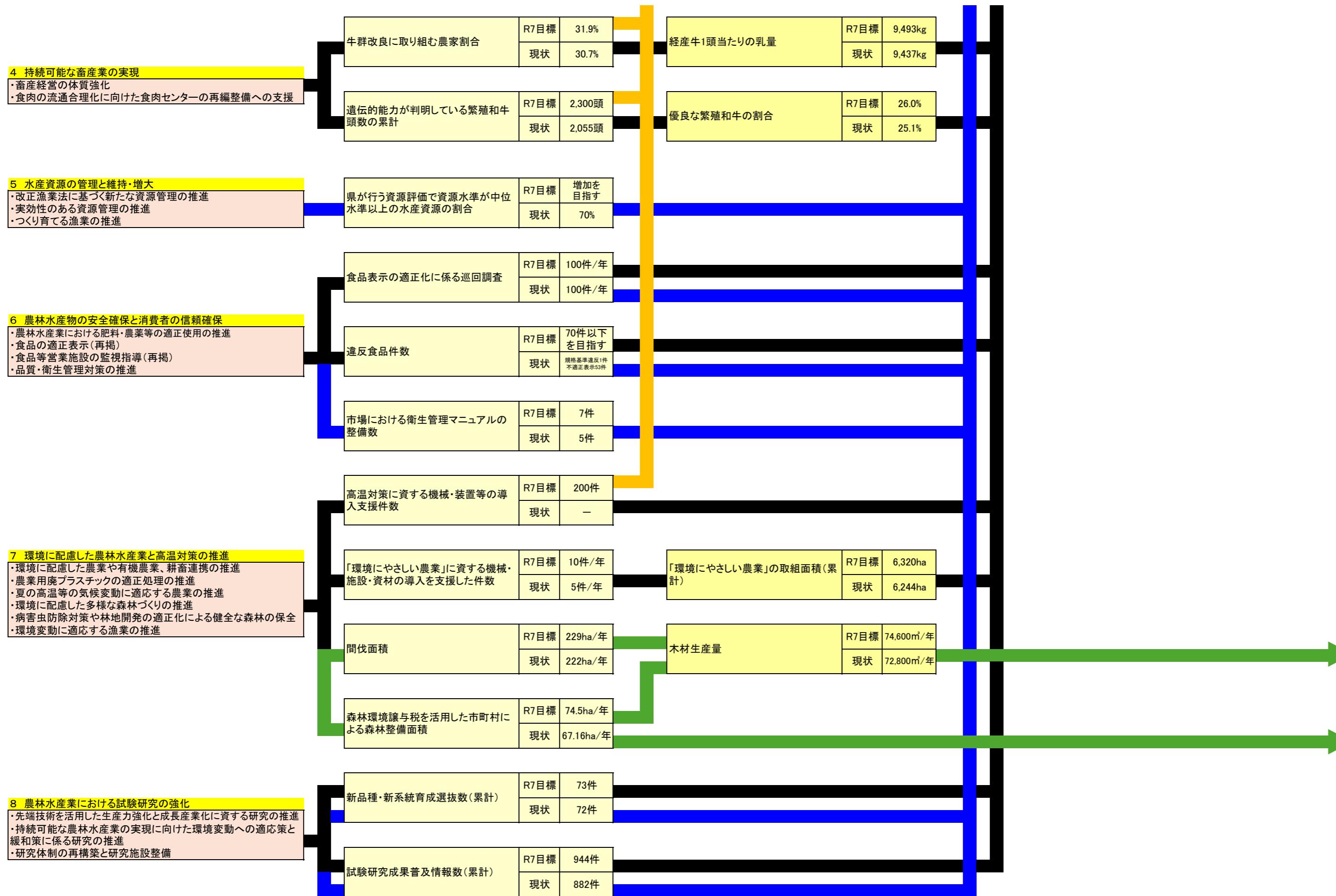
施策項目Ⅱ-2-① 次世代を担う人材の確保・育成



【ロジックモデル】

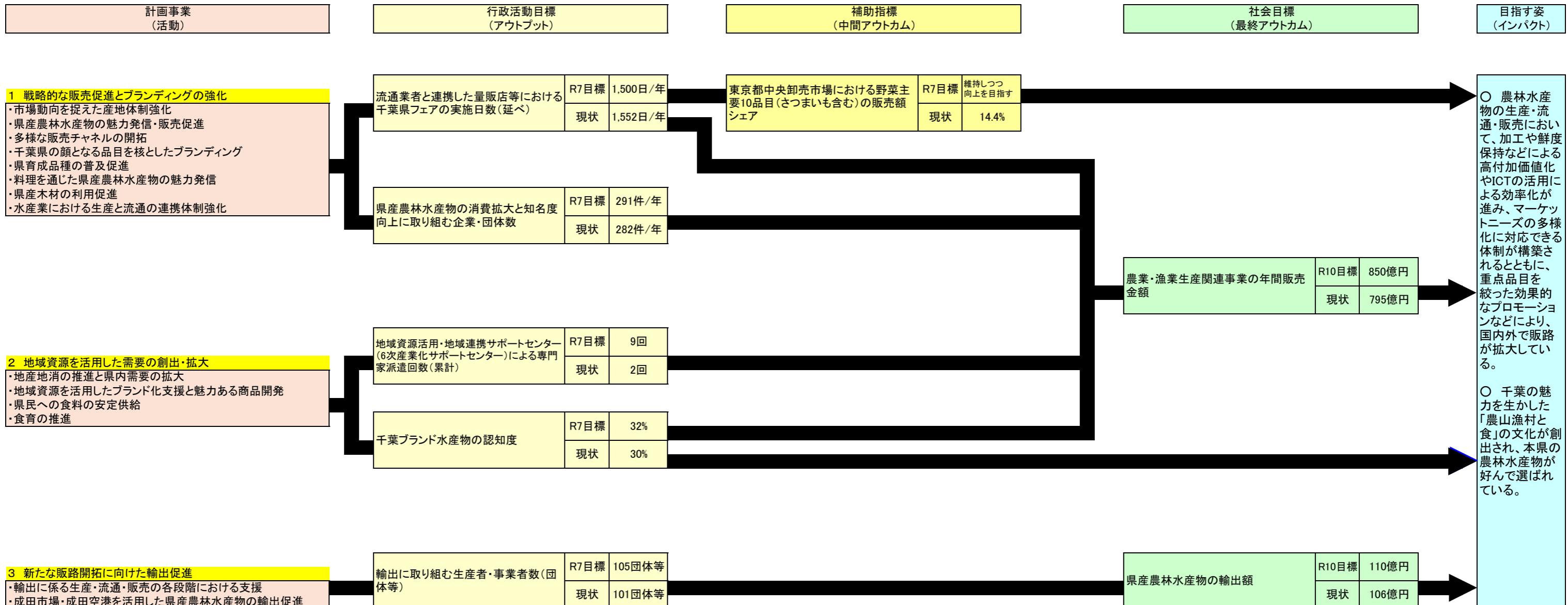
施策項目 II-2-② 農林水産業の成長力の強化





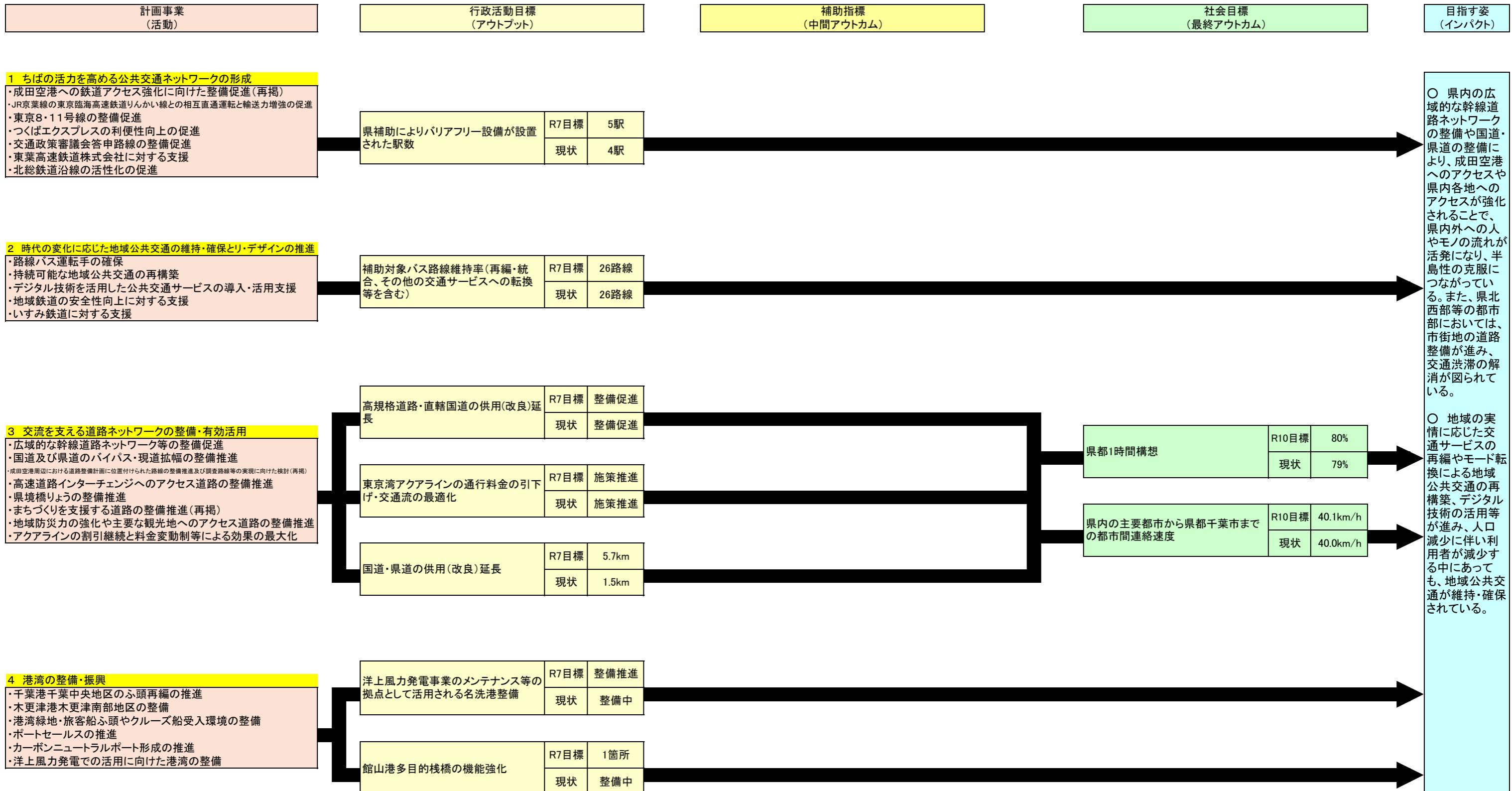
【ロジックモデル】

施策項目Ⅱ-2-③ 需要を捉えた販売力の強化と輸出促進



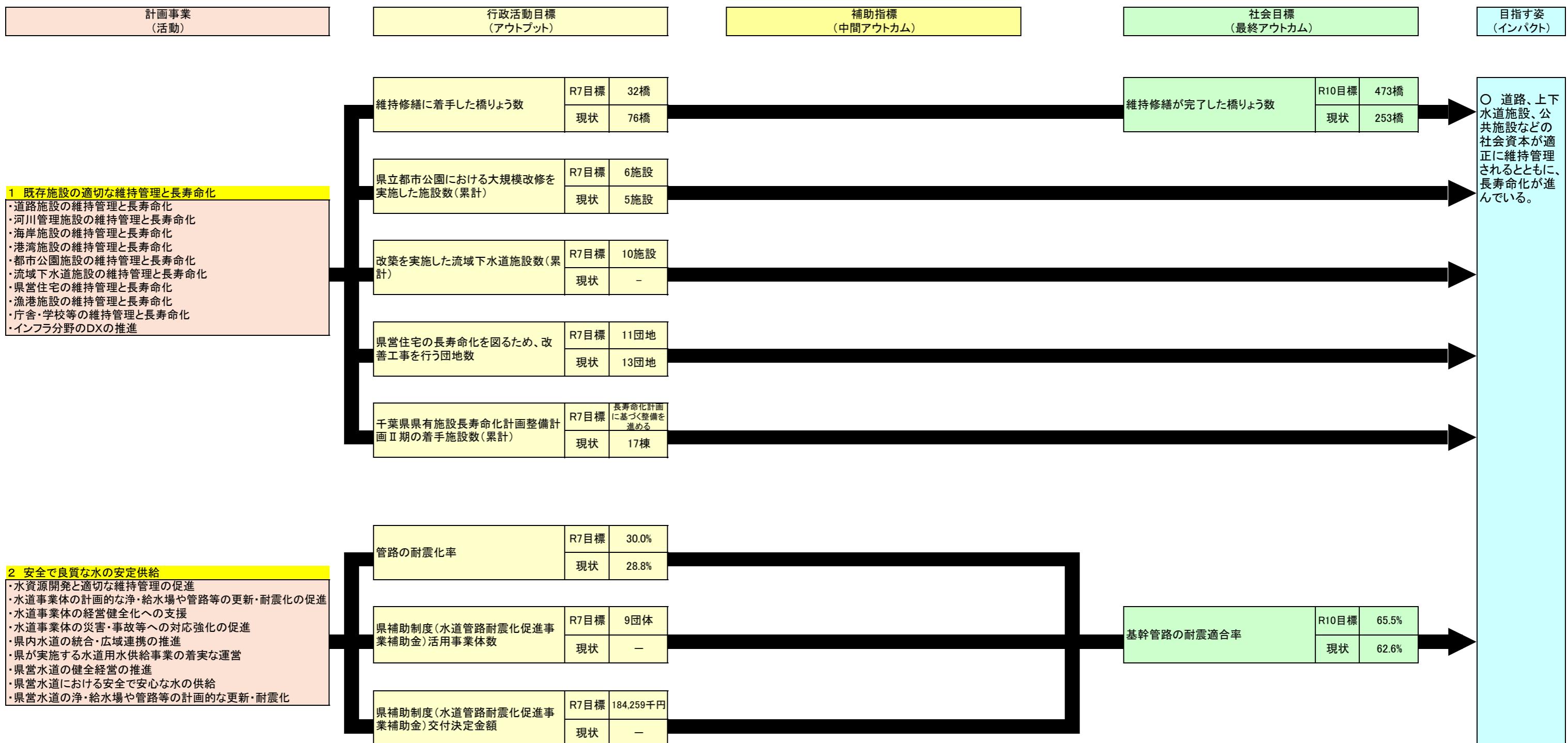
【ロジックモデル】

施策項目 II-3-① 半島性を克服する交通ネットワークの強化



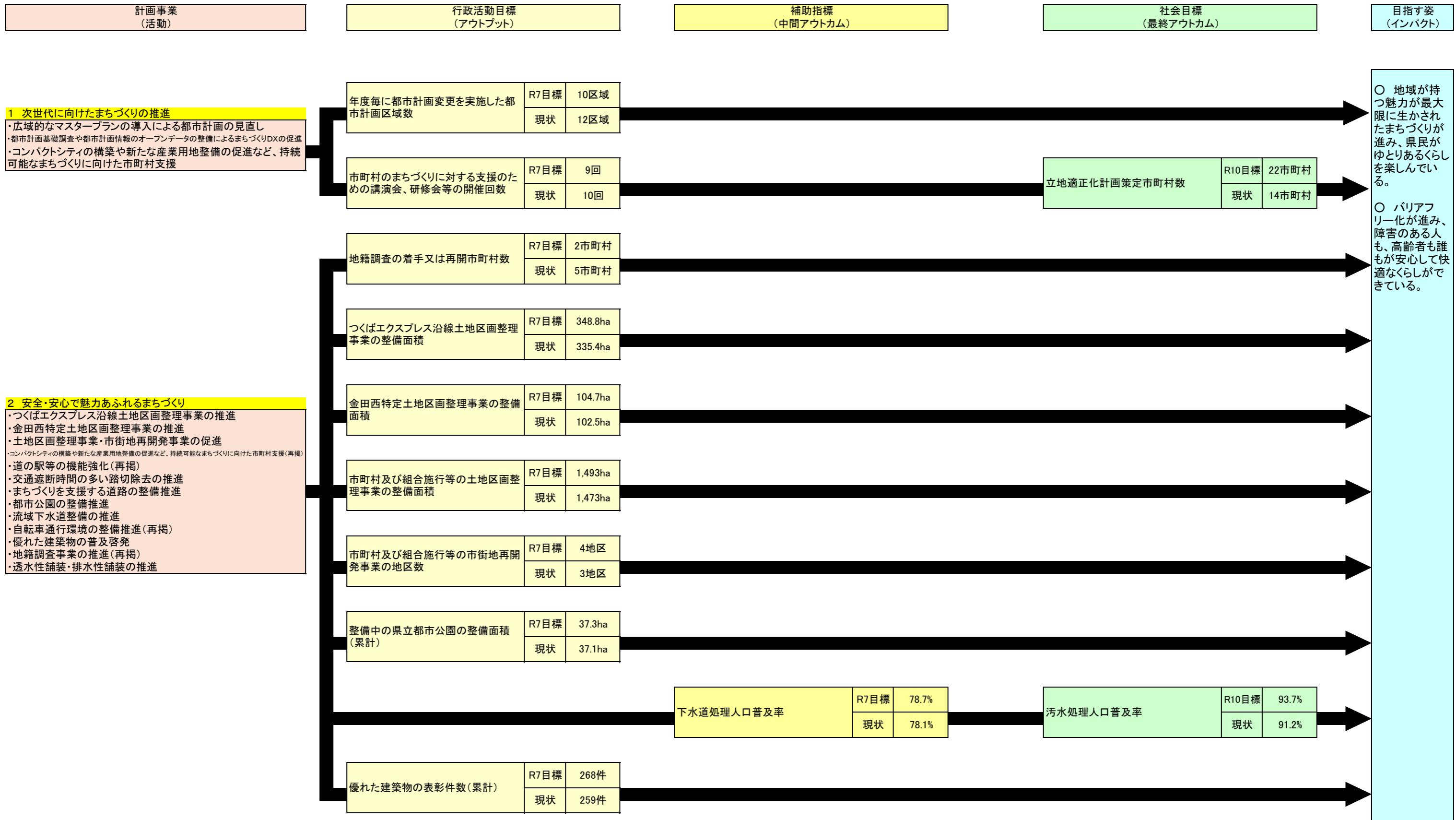
【ロジックモデル】

施策項目 II-3-② 社会資本の適正な維持管理



【ロジックモデル】

施策項目Ⅱ-3-③ 快適で暮らしやすいまちづくりとスマート自治体の実現



3 バリアフリー化の推進

- ・障害者等用駐車区画利用証制度の普及・啓発
- ・公共交通におけるバリアフリー化の推進
- ・福祉タクシーの導入促進
- ・特定道路のバリアフリー化対策の推進
- ・交通安全施設のバリアフリー化の推進
- ・ちばバリアフリーマップの充実・周知
- ・公共施設におけるバリアフリー化の推進

県補助によりバリアフリー設備が設置された駅数	R7目標	5駅
	現状	4駅

4 環境・景観に配慮した整備・保全

- ・河川・海岸環境の整備・保全とにぎわいづくり
- ・周辺環境に配慮した道路の整備推進
- ・透水性舗装・排水性舗装の推進(再掲)
- ・都市における緑の保全と緑化の推進
- ・都市公園の整備推進(再掲)
- ・コンバクトシティの構築や新たな産業用地整備の促進など、持続可能なまちづくりに向けた市町村支援(再掲)
- ・屋外広告物の規制・誘導
- ・良好な景観形成に向けた啓発活動の実施及び市町村支援
- ・グリーンインフラの整備推進(再掲)

透水性舗装の整備延長(累計)	R7目標	235.5km
	現状	234.5km

都市計画区域内人口一人当たりの都市公園面積	R7目標	増加を目指す
	現状	7.22m ² /人

景観計画策定市町村数	R7目標	増加を目指す
	現状	22市町村

空家等対策推進事業により支援した市町村数の合計	R7目標	23市町村
	現状	17市町村

空家等対策計画を策定した市町村数	R7目標	増加を目指す
	現状	43市町村

居住支援に関する講習会、研修会等の開催回数	R7目標	4回
	現状	4回

リフォーム講習会及び相談会の開催回数	R7目標	5回
	現状	5回

マンション管理基礎講座の開催回数	R7目標	3回
	現状	4回

県営住宅の長寿命化を図るため、改善工事を行う団地数	R7目標	11団地
	現状	13団地

5 豊かな住生活の実現

- ・住情報の提供
- ・良質な住宅の供給促進
- ・高齢者等の住宅確保要配慮者に対する適切な住宅の確保
- ・既存住宅の流通・活用の促進
- ・空き家の適切な維持管理・流通・活用の促進
- ・県営住宅の建設・管理
- ・マンション管理の支援

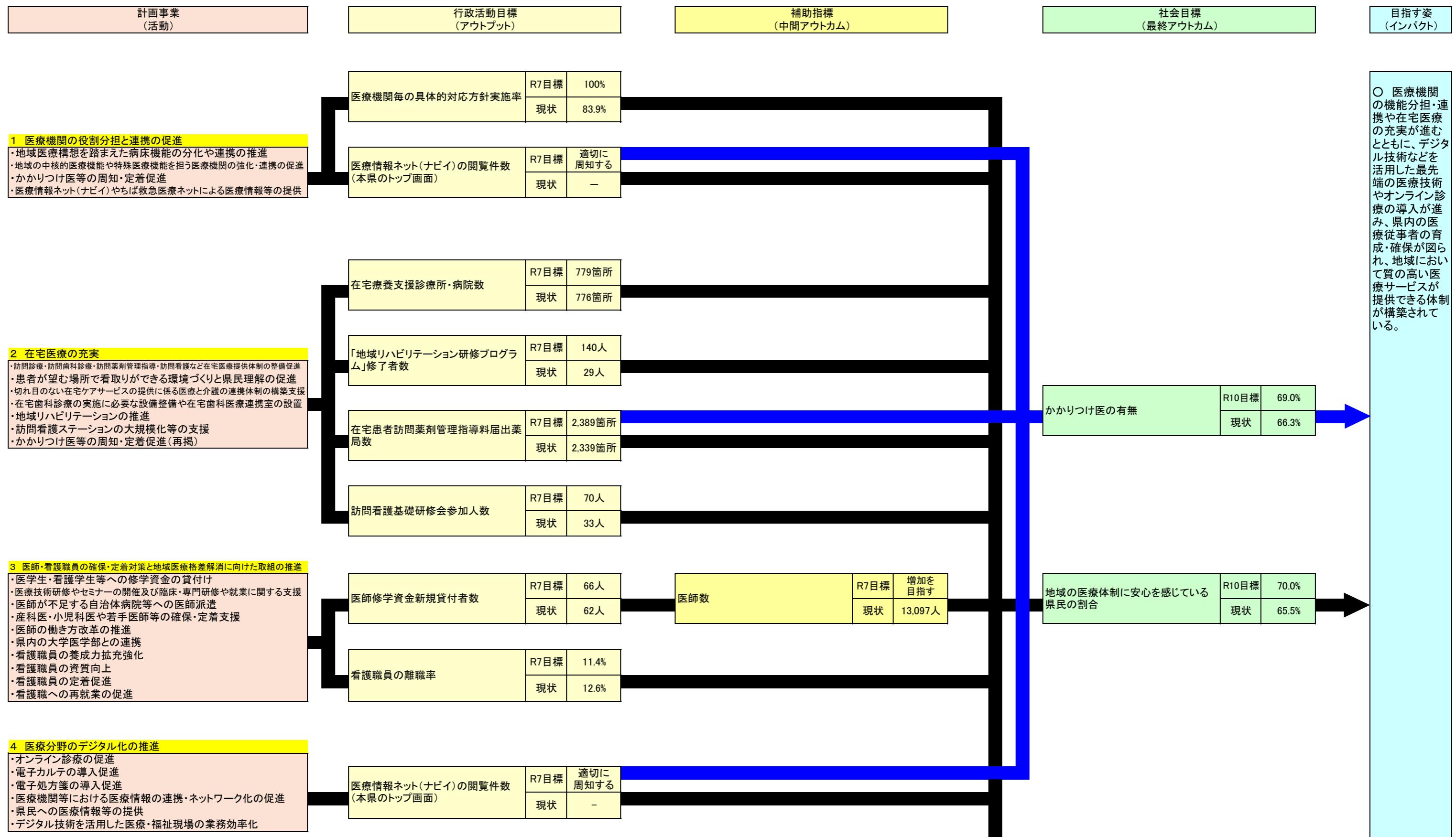
業務改善取組件数	R7目標	176件
	現状	166件

オンライン化した行政手続の件数	R7目標	343件
	現状	199件

行政手続のオンライン化率	R10目標	98.0%
	現状	63.0%

【ロジックモデル】

施策項目Ⅲ－1－① 増大する医療需要への対応



5 救急医療体制の整備

- ・ドクターへりの活用
- ・地域医療の現状を踏まえた救命救急センターの体制強化
- ・AED(自動体外式除細動器)及び心肺蘇生法の普及促進
- ・救急安心電話相談の実施

県ホームページで公表しているAED設置施設数	R7目標	7,168箇所
	現状	6,936箇所

救急安心電話相談件数	R7目標	48,286件
	現状	47,858件

6 周産期・小児救急医療体制の整備

- ・周産期母子医療センターの支援
- ・母体搬送コーディネート体制(24時間・365日体制)の確保
- ・母体の県域を越えた緊急搬送の適正な運用
- ・小児救急電話相談の実施
- ・小児救命救急センターの支援
- ・小児救急医療拠点病院の支援
- ・小児救急医療に係る夜間・休日診療所運営の支援

小児救急電話相談件数	R7目標	53,151件
	現状	51,439件

7 自治体病院への支援

- ・自治体が行う医療施設整備に対する支援
- ・医師が不足する自治体病院等への医師派遣(再掲)
- ・医学生への修学資金の貸付け

自治体病院医師数	R7目標	増加を目指す
	現状	1,026人

8 県立病院の経営安定化と機能強化

- ・安全・安心な質の高い医療の提供
- ・がんセンターの施設整備
- ・千葉リハビリテーションセンターの再整備
- ・安全で質の高い医療提供のための医療機器等の整備
- ・勤務環境改善や研修等の充実による人材確保及び育成
- ・災害医療の強化
- ・デジタル技術を活用した医療提供体制の強化

県立病院新入院患者数	R7目標	21,721人
	現状	22,136人

県立病院新外来患者数	R7目標	32,420人
	現状	29,851人

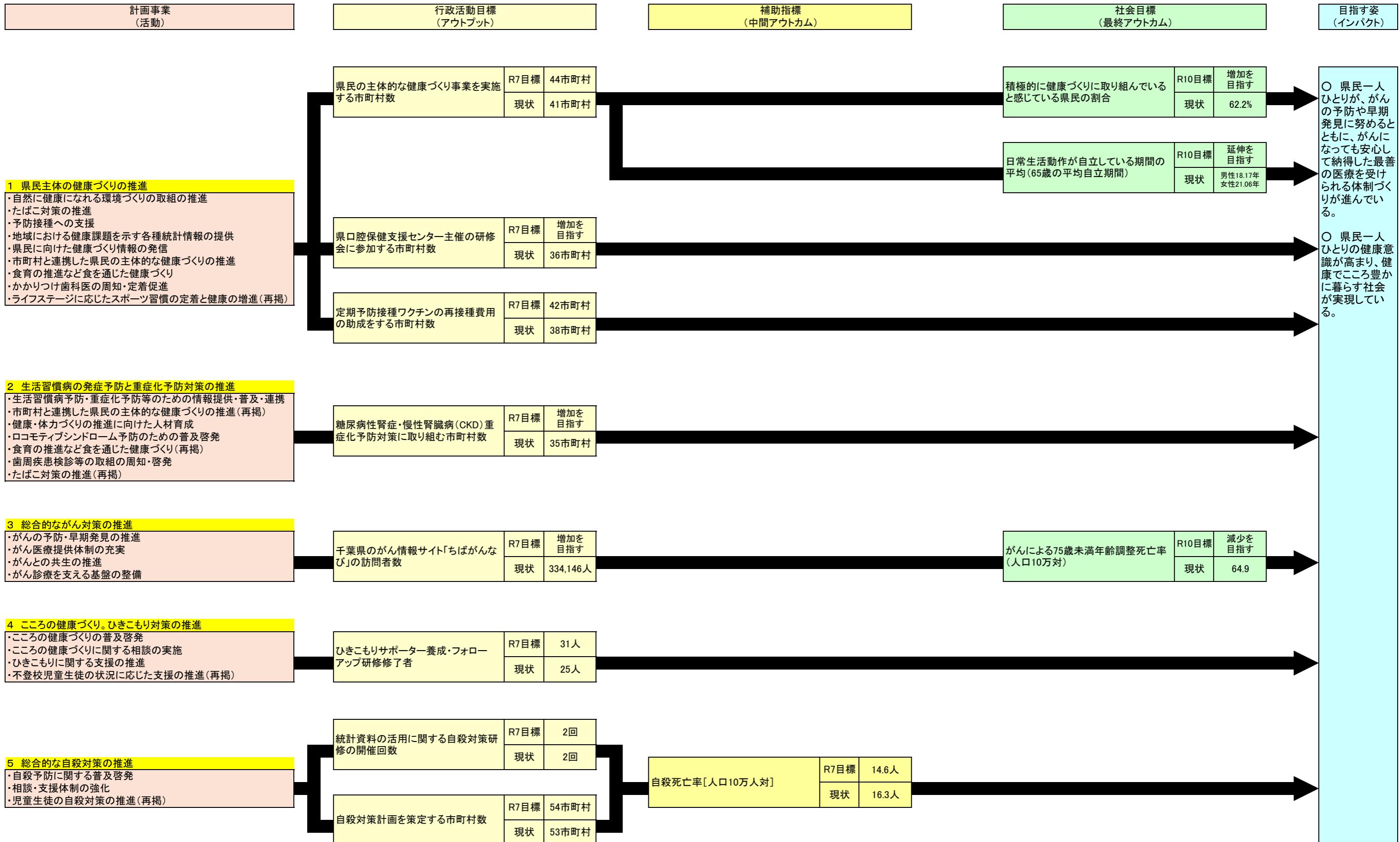
9 県立保健医療大学の機能強化

- ・デジタル化や国際化に対応できる保健医療人材の育成
- ・県の健康づくり政策に対するシンクタンク機能の強化
- ・リカレント教育機能の強化
- ・施設・設備面の充実・強化
- ・大学院の設置等、より高度な教育課程の設置

保健医療大学の機能強化の基本方針の決定・公表	R7目標	保健医療大学の機能強化の基本方針を決定・公表する
	現状	一

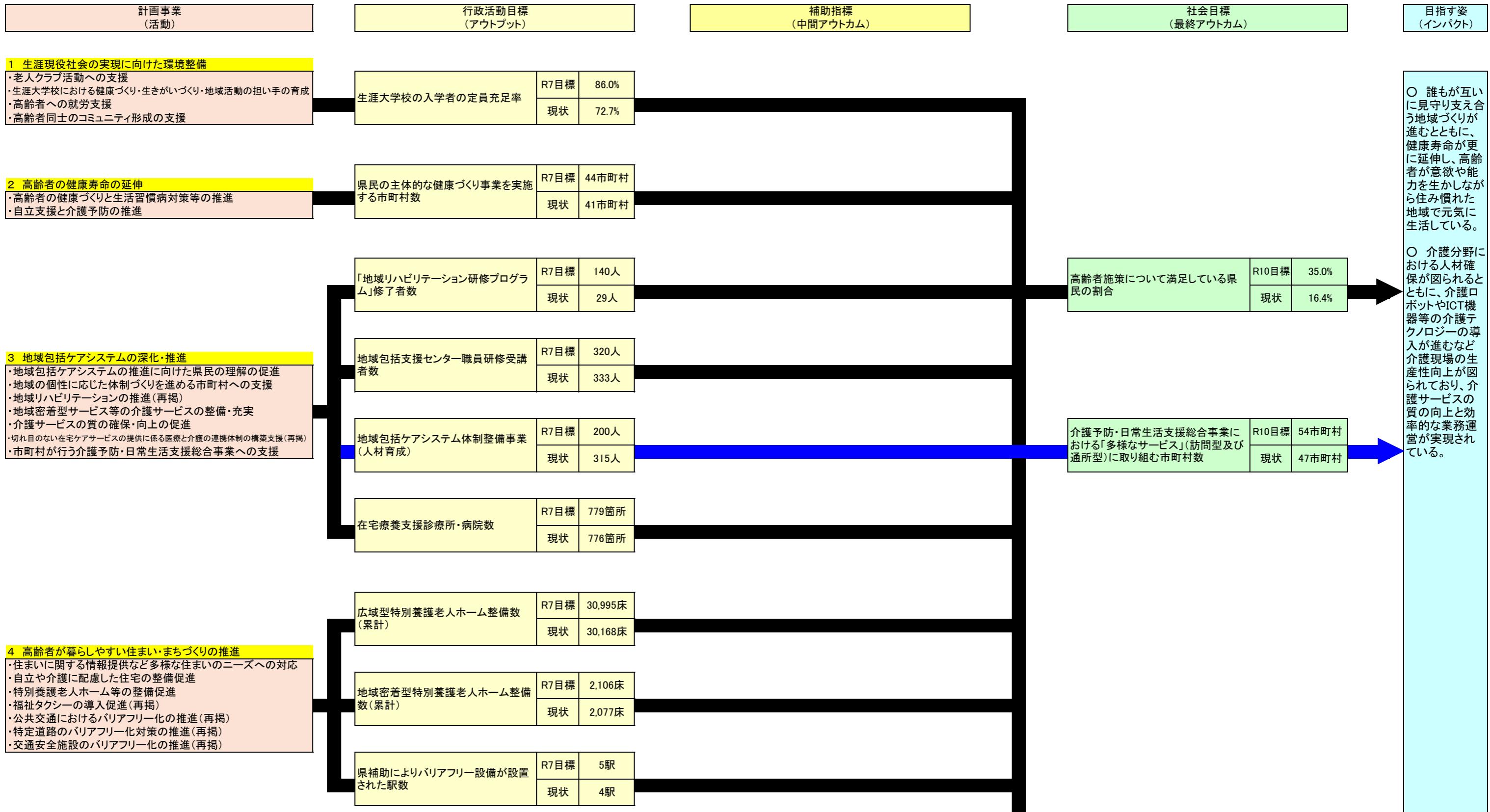
【ロジックモデル】

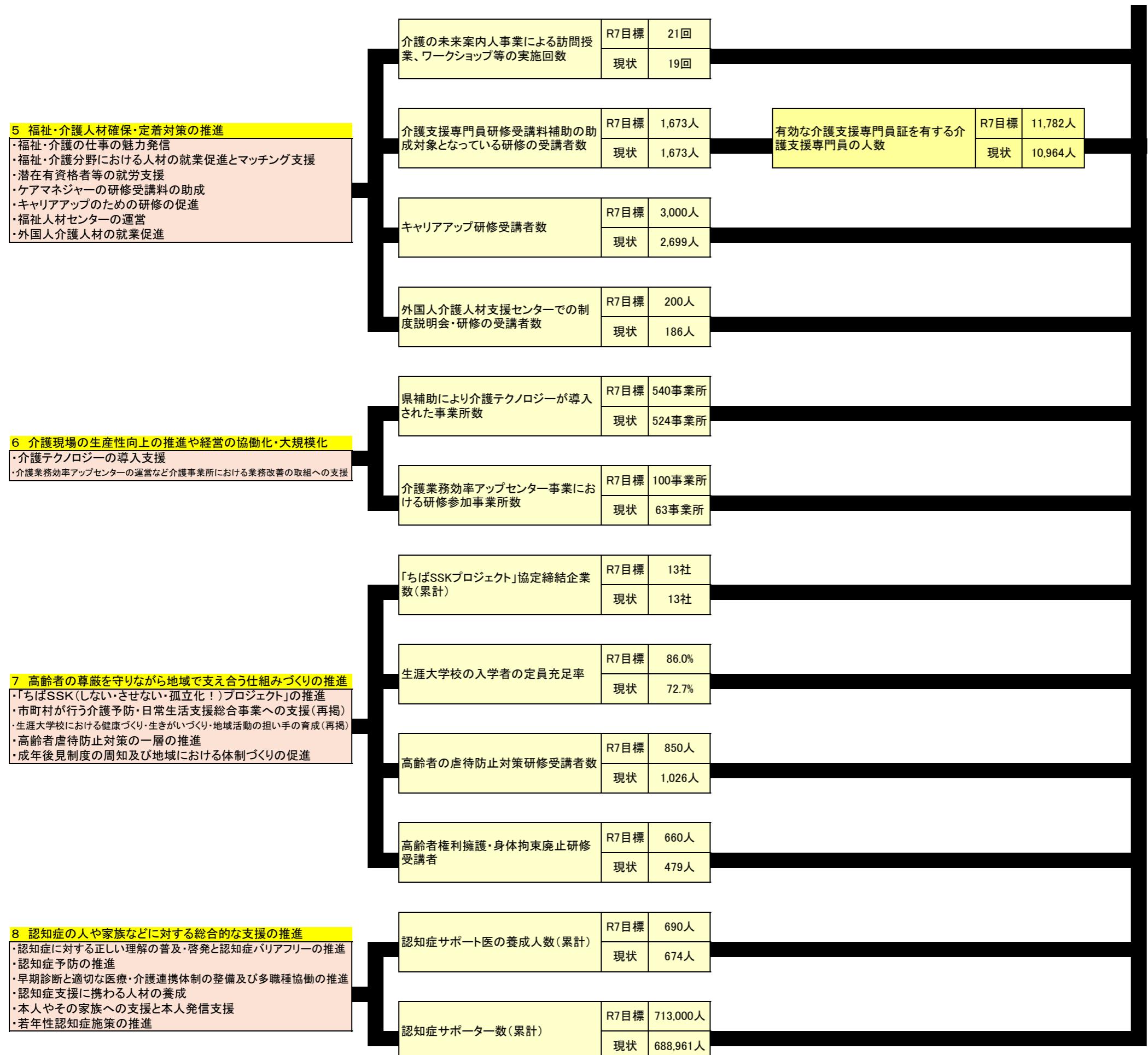
施策項目Ⅲ-1-② 生涯を通じた健康づくりと予防医療の推進



【ロジックモデル】

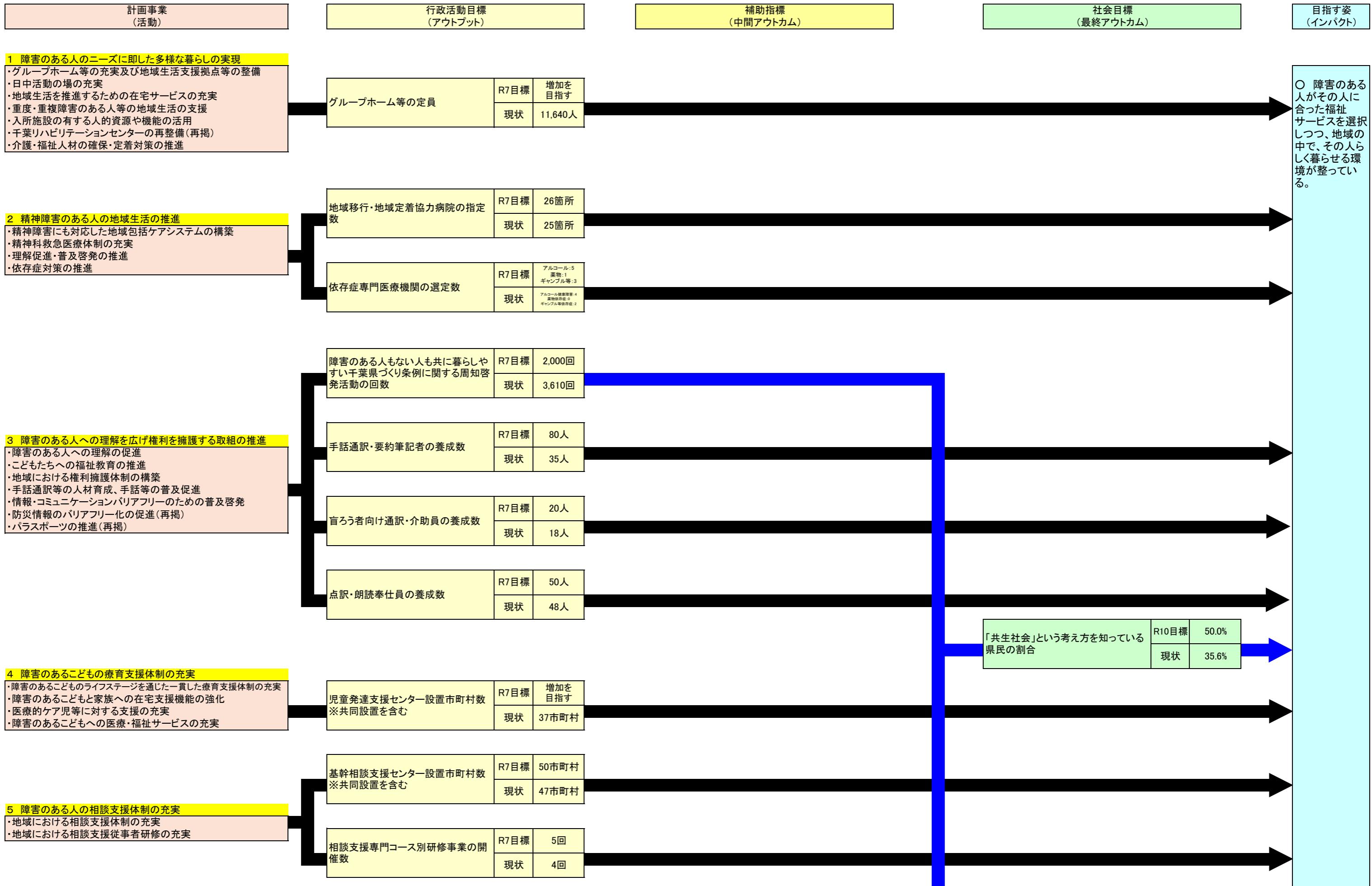
施策項目Ⅲ-2-① 高齢者福祉の充実





【ロジックモデル】

施策項目Ⅲ-2-② 障害者福祉の充実



6 障害のある人の一般就労の促進と福祉的就労の充実	
・就労支援・定着支援の体制強化	
・障害者就業・生活支援センターの運営強化	
・障害のある人を雇用する企業等への支援	
・支援機関や関係機関のネットワークの構築及び情報共有化	
・福祉施設等で生産活動・福祉的就労を行う障害のある人の工賃(賃金)向上への取組の推進	
・障害のある人の自らの価値観に基づいた働き方の選択を尊重した支援	

福祉施設利用者の一般就労への移行実績	R7目標	1,506人
	現状	1,677人

障害者雇用率達成企業の割合	R7目標	増加を目指す
	現状	47.3%

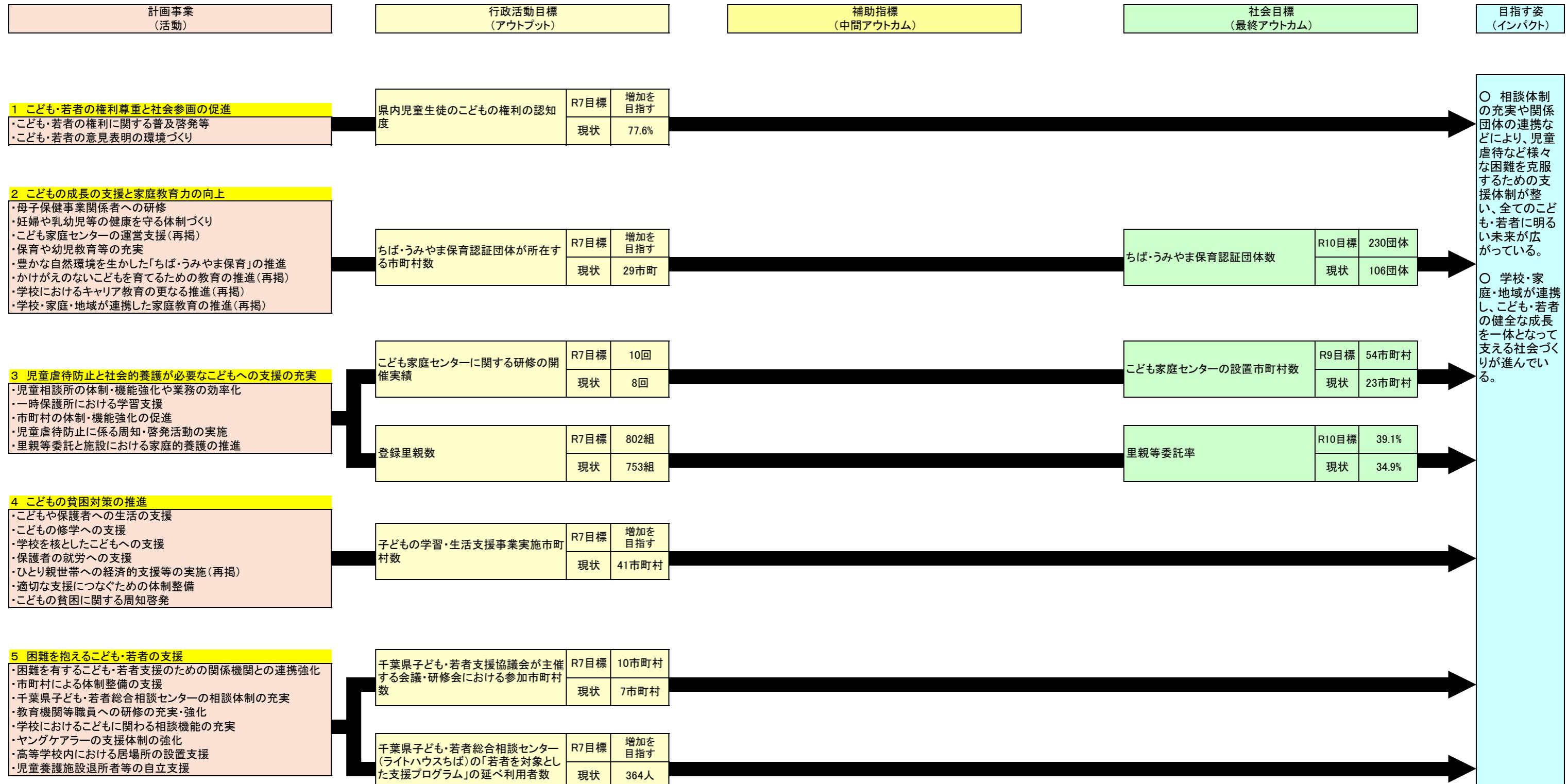
7 障害のある人一人ひとりに着目した支援の充実	
・地域の支援施設等のみでは支援が困難な障害に対する支援の推進	
・通所サービスだけでは支援が困難な障害に対する支援の推進	
・重度・重複障害のある人の負担軽減の推進	
・ひきこもりに関する支援の推進(再掲)	

相談支援アドバイザー派遣件数	R7目標	15件
	現状	13件

地域生活支援拠点等が整備されている市町村数	R10目標	54市町村
	現状	38市町村

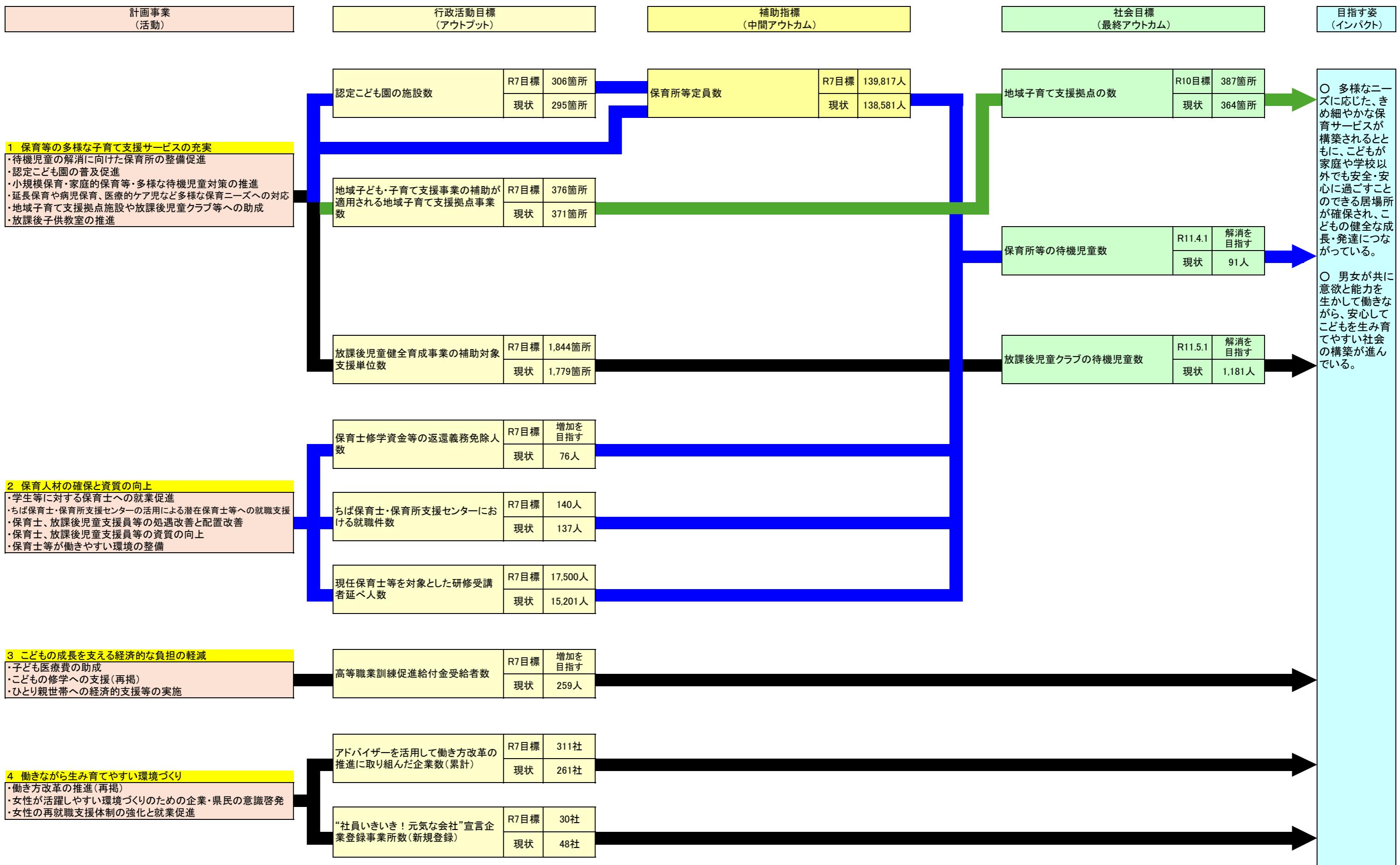
【ロジックモデル】

施策項目IV-1-① こども・若者の健やかな成長への支援



【ロジックモデル】

施策項目IV-1-② 安心して子育てできる環境づくり



5 男女が協力して子育てできる環境づくり
・企業等との連携などによる男女共同参画の意識の普及・啓発(再掲)
・仕事と家庭の両立支援に取り組む企業等の表彰(再掲)
・働き方改革の推進(再掲)

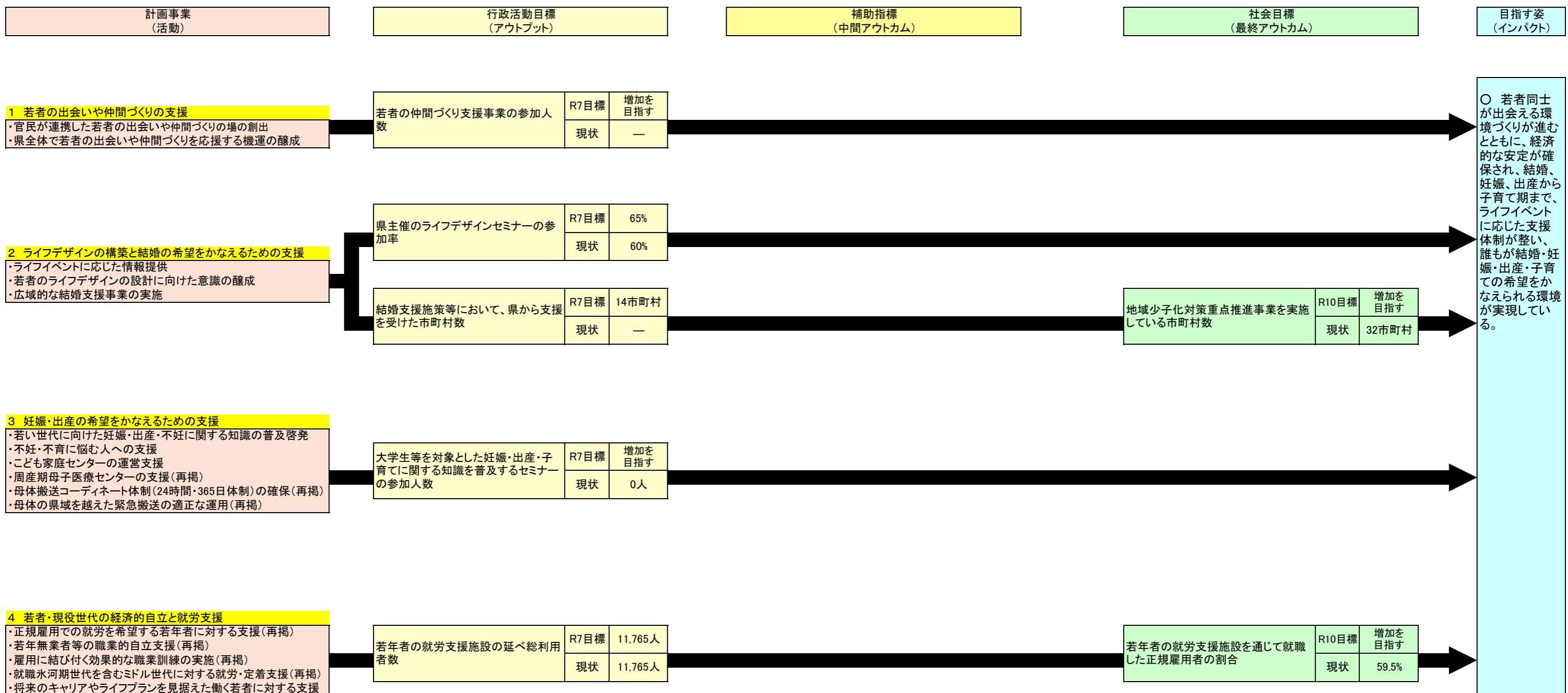
男女共同参画・多様性社会推進事業 所表彰件数	R7目標	6件
	現状	5件

6 企業参画による子育て支援
・企業参画型子育て支援事業(子育て応援！チーパス事業や 「チーバくん」を活用した子育て応援事業)の推進
・協賛店拡大のための取組の実施

「子育て応援！チーパス事業」協賛店 舗数	R7目標	増加を 目指す
	現状	8,145店

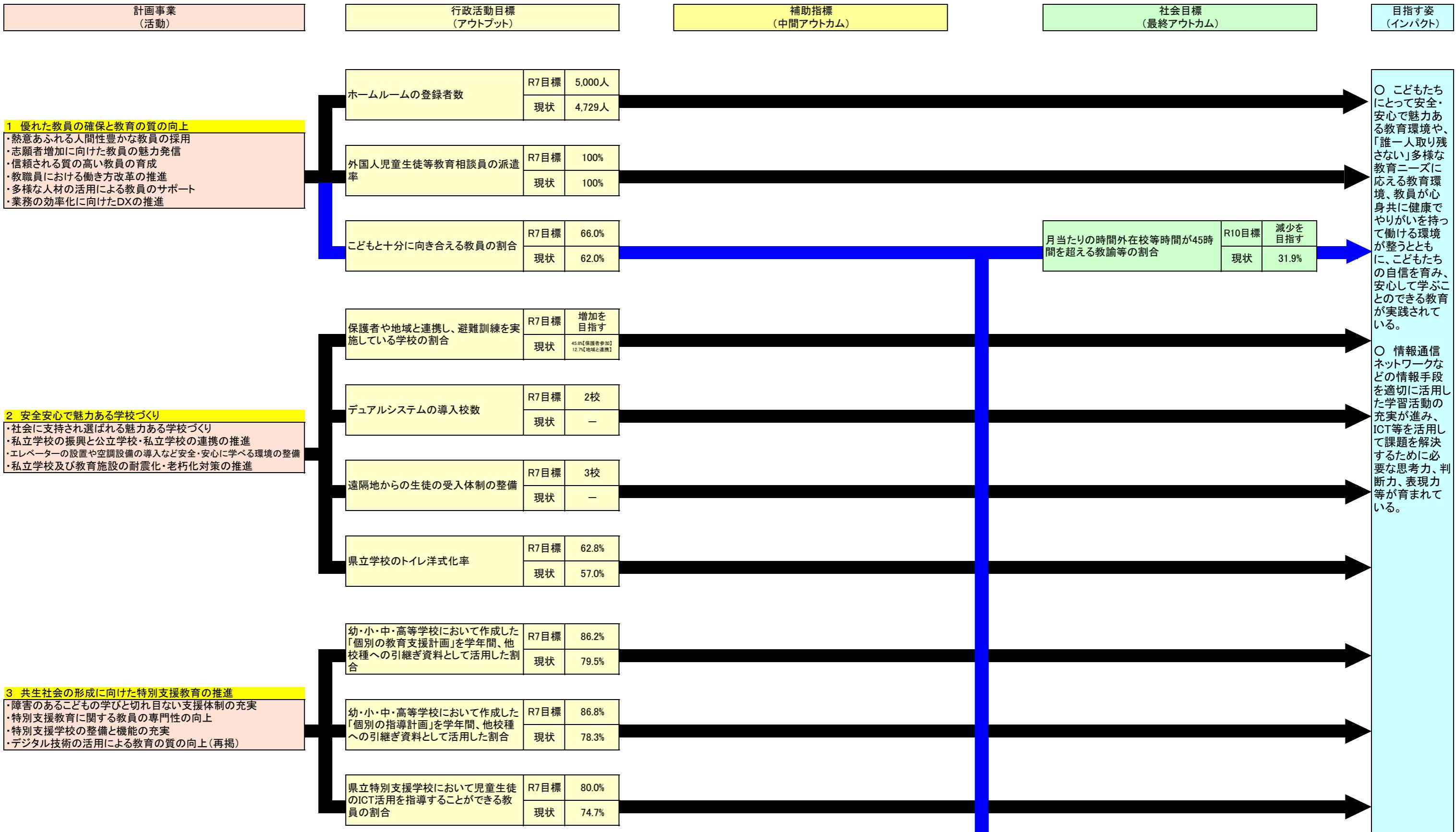
【ロジックモデル】

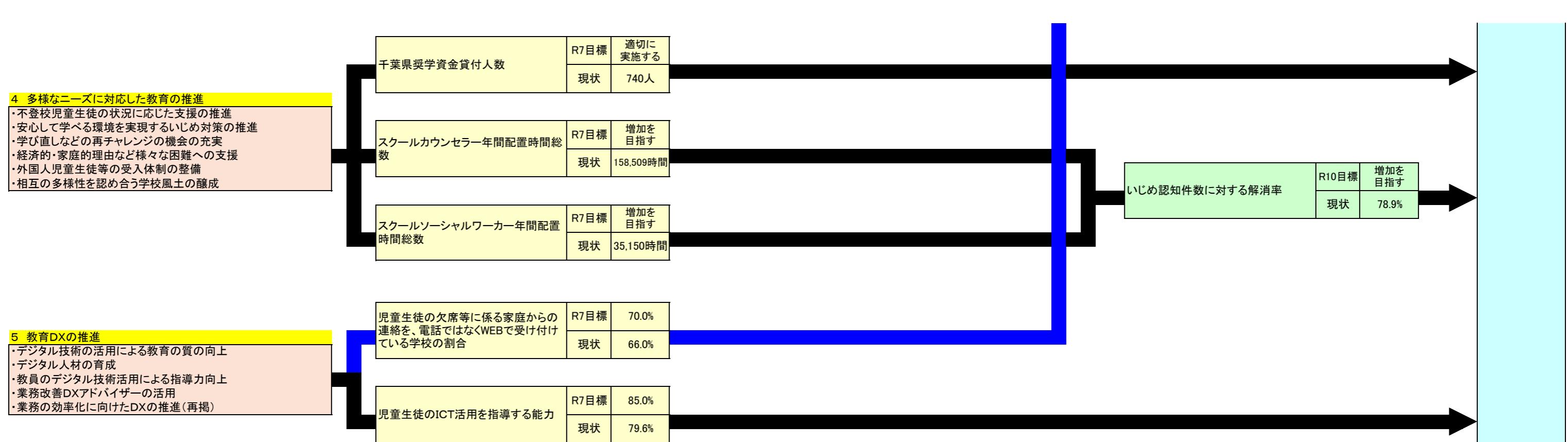
施策項目IV-1-③ 若者の仲間づくりの促進やライフイベントに応じた支援



【ロジックモデル】

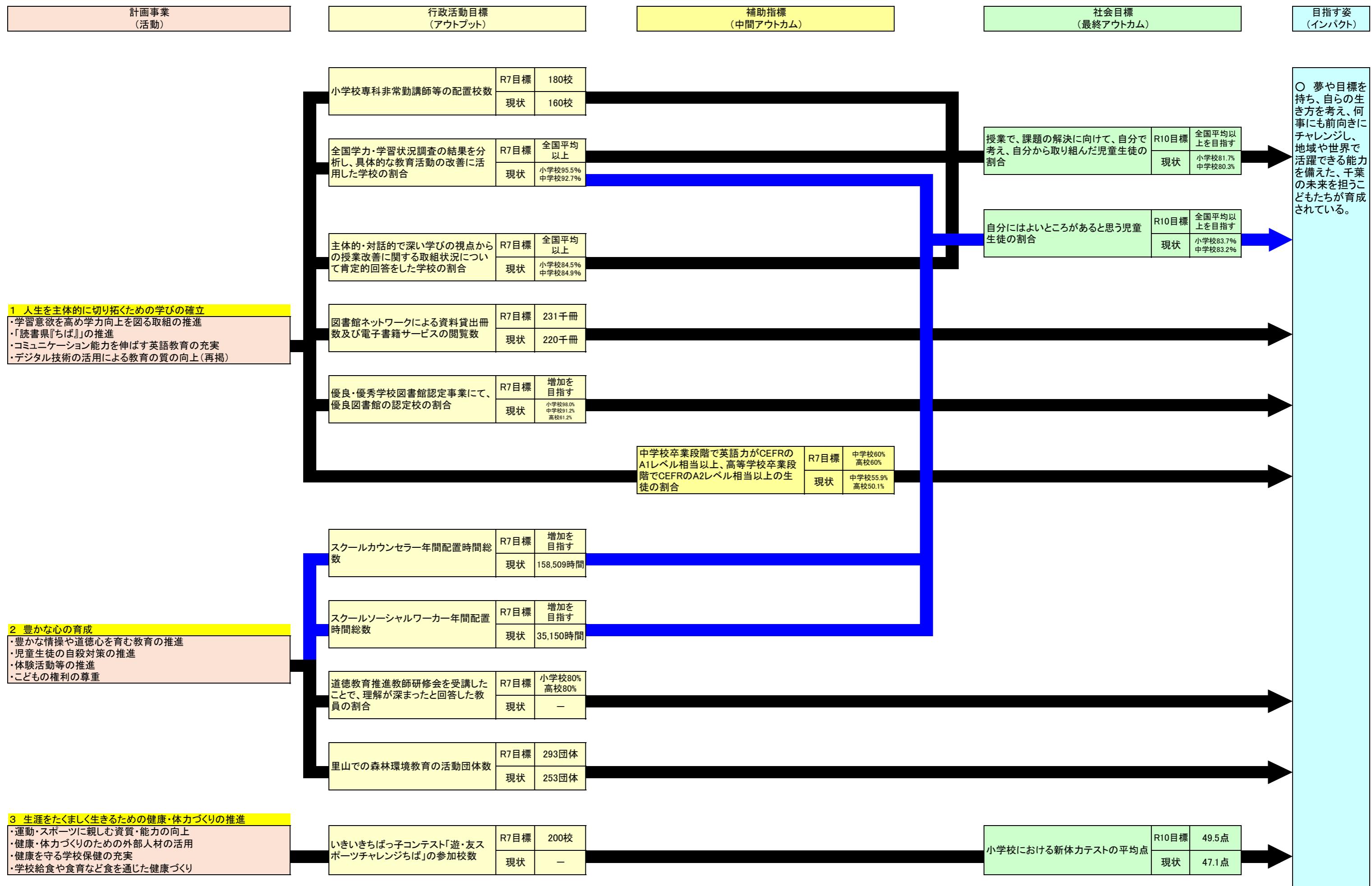
施策項目IV-2-① こどもたちの自信を育む教育の土台づくり





【ロジックモデル】

施策項目IV-2-② 未来を切り拓く「人」の育成



4 人格形成の基礎を培う幼児教育の充実

- ・教職員や保育士の専門性の向上をはじめとした幼児教育・保育の質の向上
- ・豊かな自然環境を生かした「ちば・うみやま保育」の推進(再掲)
- ・幼児教育と小学校教育の接続の円滑化
- ・保育士等の資質の向上

域内の幼稚園・保育所と諸学校の間で、接続を見通した教育課程の編成・実施が行われている市町村数		R7目標	増加を目指す
現状	20市町村		

幼児教育アドバイザー派遣実績の割合	R7目標	100%
現状	100%	

5 郷土と国を愛する心と、グローバル化への対応能力の育成

- ・郷土と国の歴史や伝統文化等について学ぶ教育の推進
- ・多様な文化を認め合う国際社会の担い手の育成

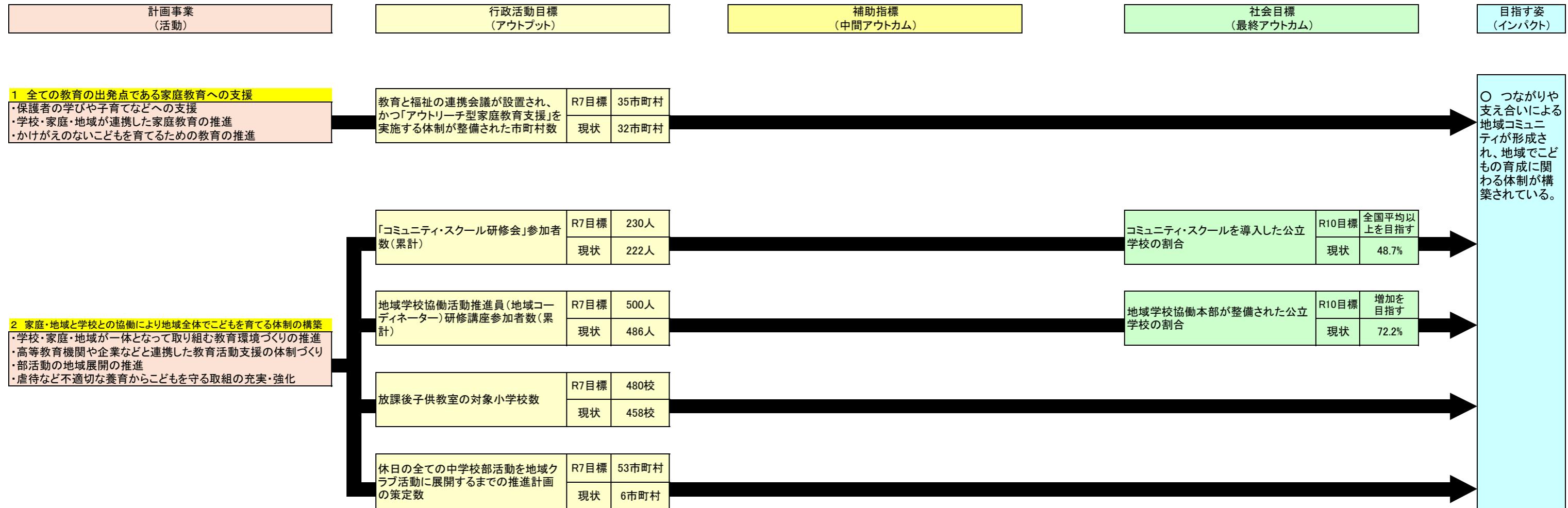
国際教育交流推進事業(グローバル体験、台湾派遣、留学フェア)における参加人数	R7目標	増加を目指す
現状	257人	

海外留学(期間を問わない)をした生徒数	R7目標	増加を目指す
現状	255人	

出土文化財を活用した出前授業による学習効果に係るアンケートの評価	R7目標	3.5以上の維持を目指す
現状	3.8/4	段階評価

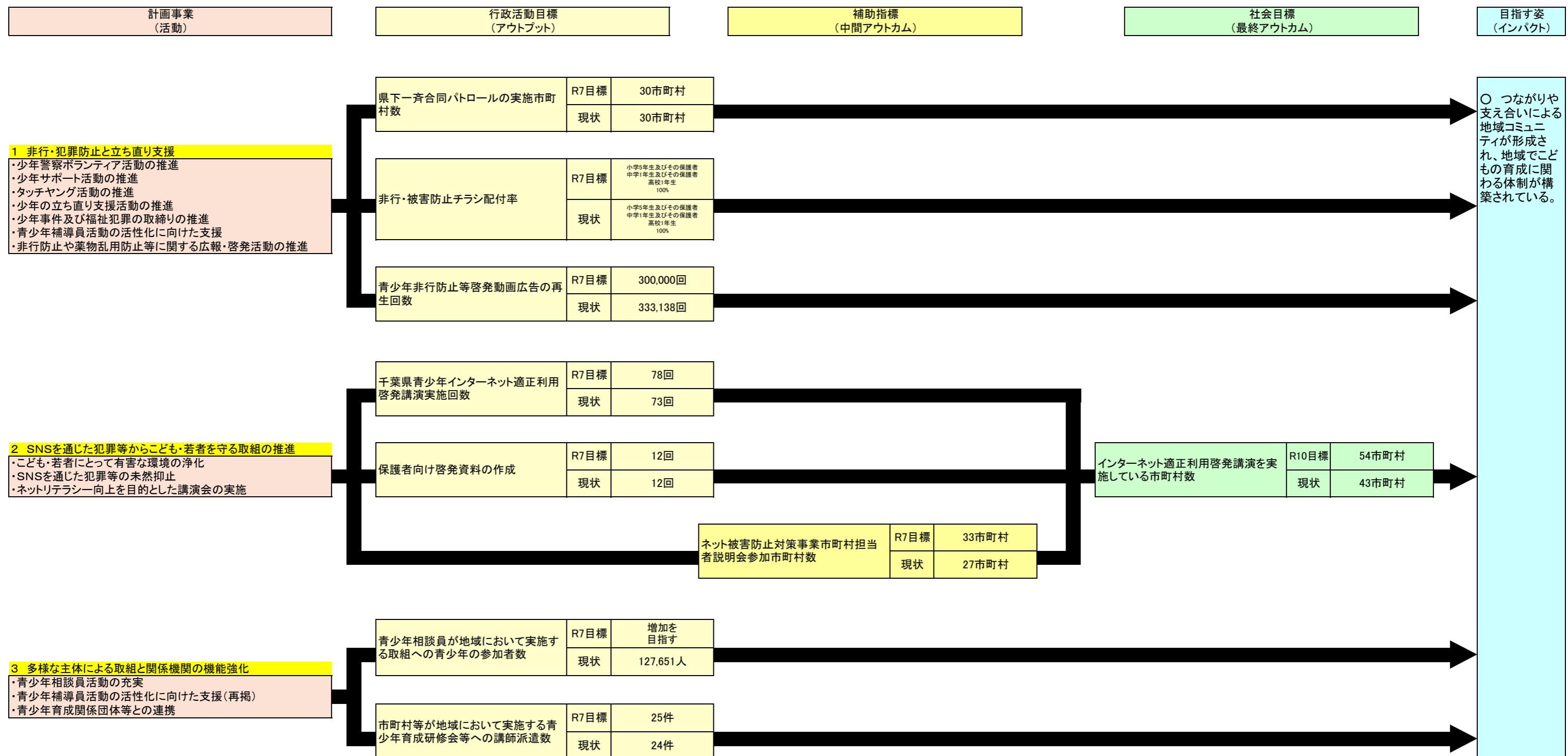
【ロジックモデル】

施策項目IV-2-③ 地域全体でこどもを育てる体制づくり



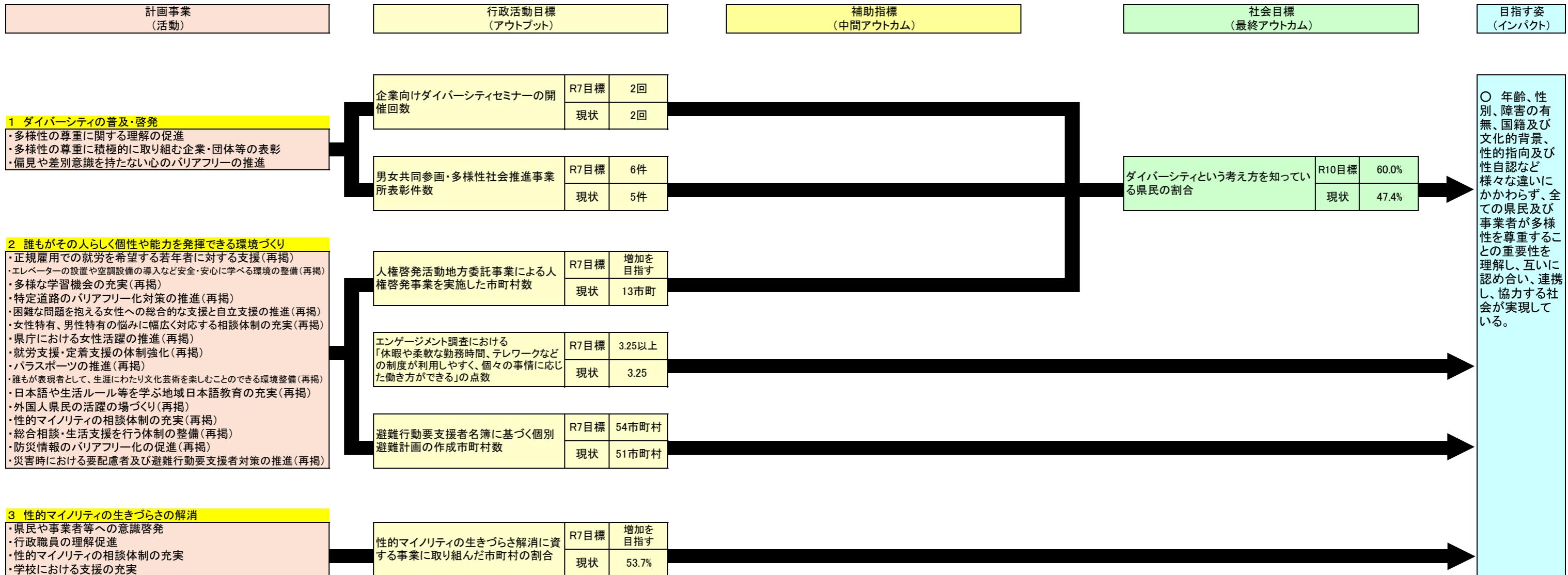
【ロジックモデル】

施策項目IV-2-④ 青少年の健全育成



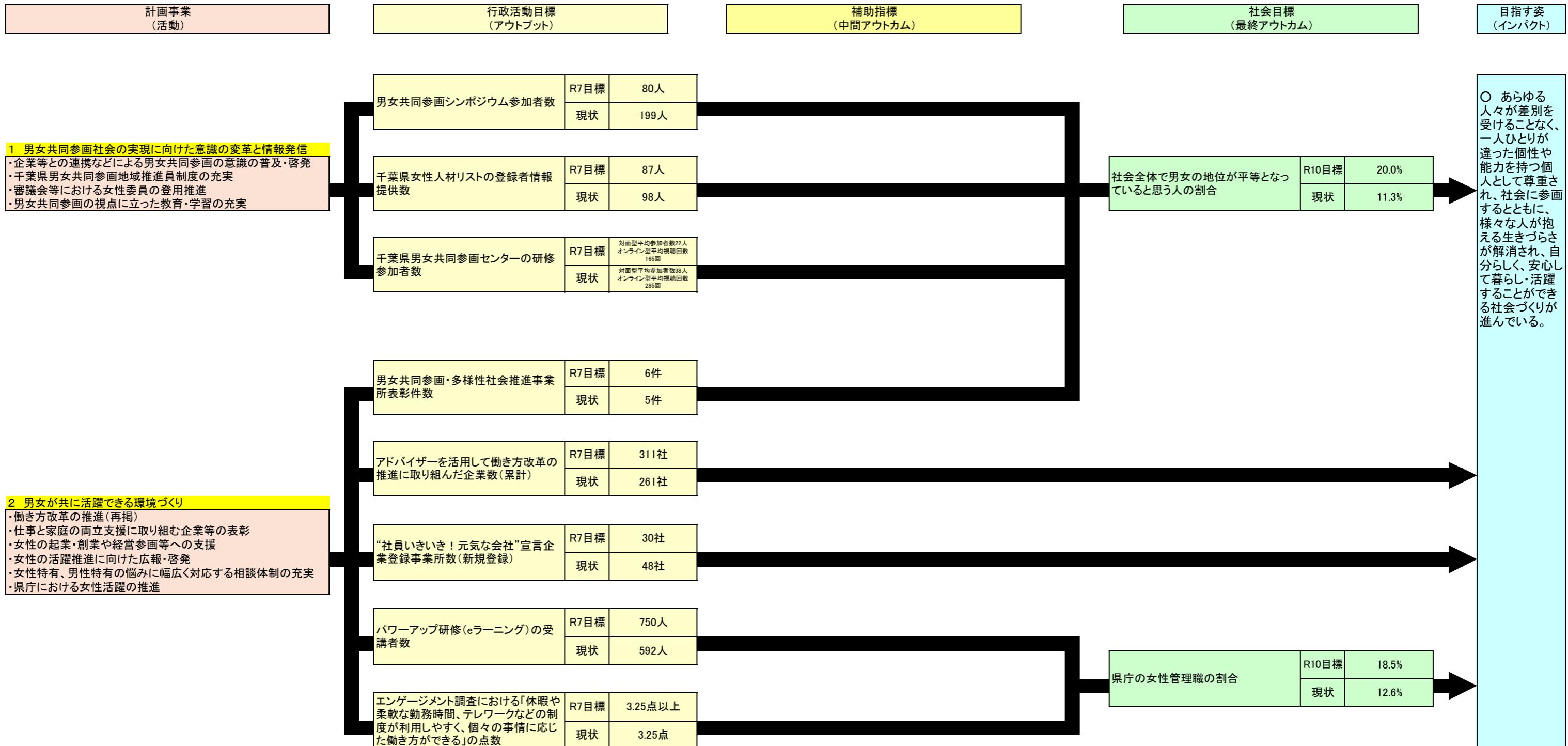
【ロジックモデル】

施策項目V-1-① 誰もが力を発揮できる社会の実現



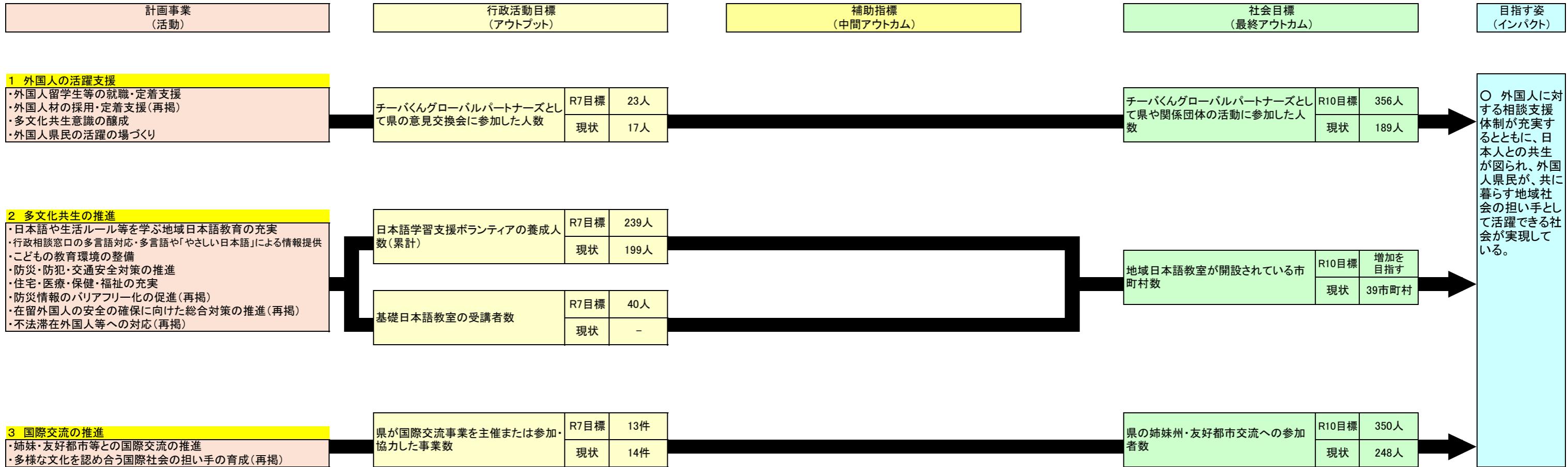
【ロジックモデル】

施策項目V-1-② 男女共同参画の推進



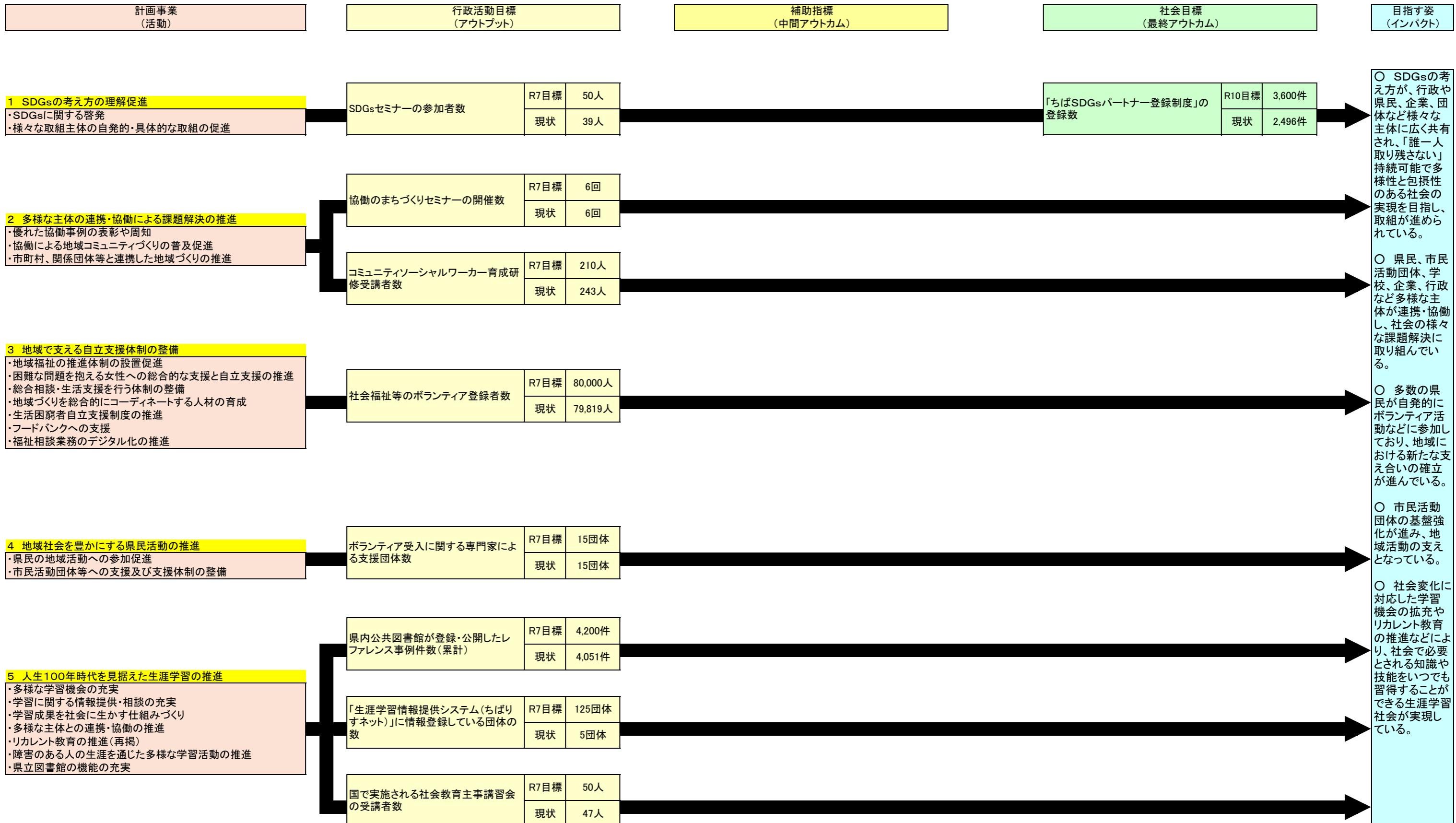
【ロジックモデル】

施策項目V-1-③ 外国人の活躍・共生と国際交流の推進



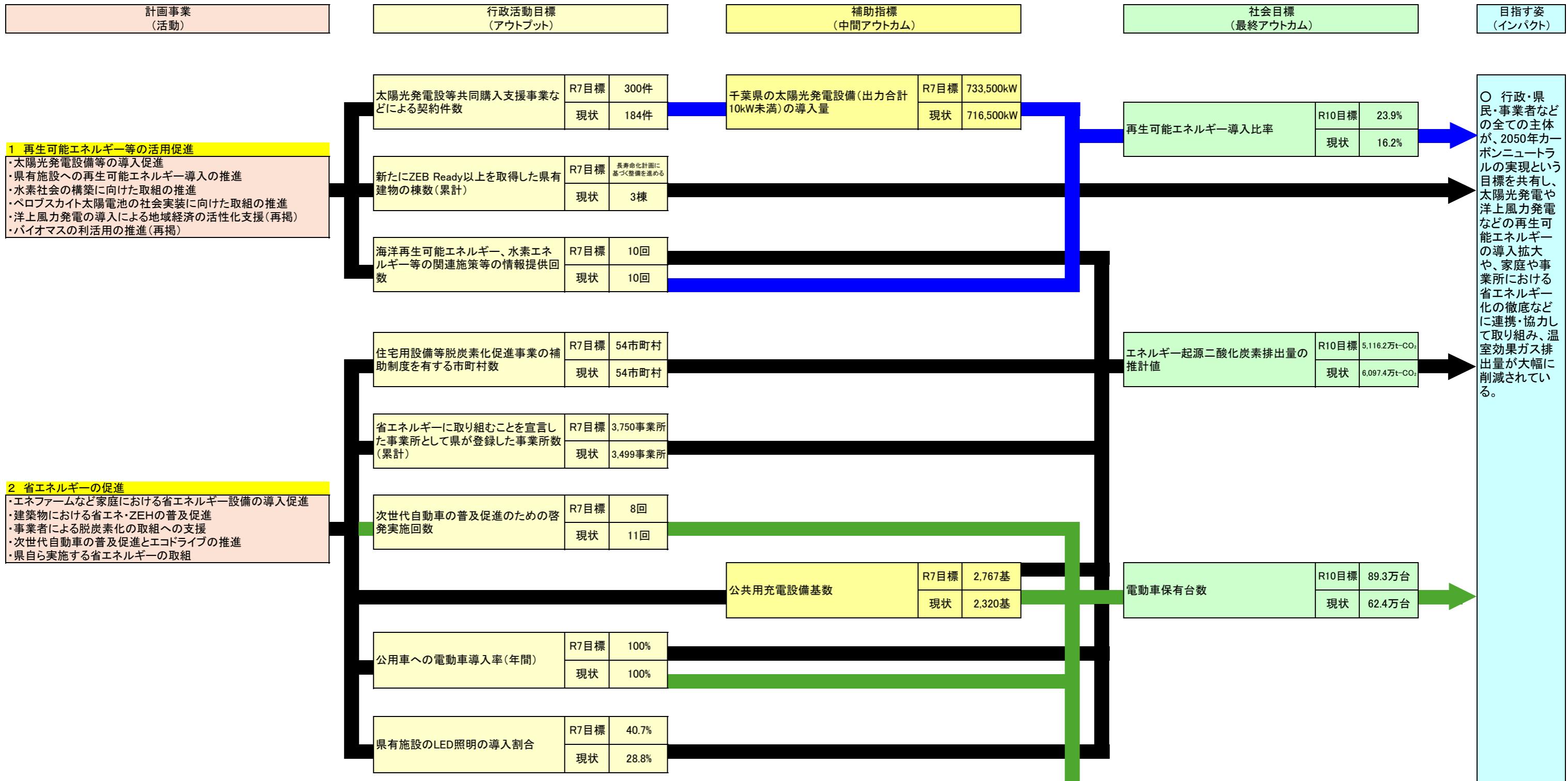
【ロジックモデル】

施策項目V-2-① 多様な主体の連携・協働による社会づくり



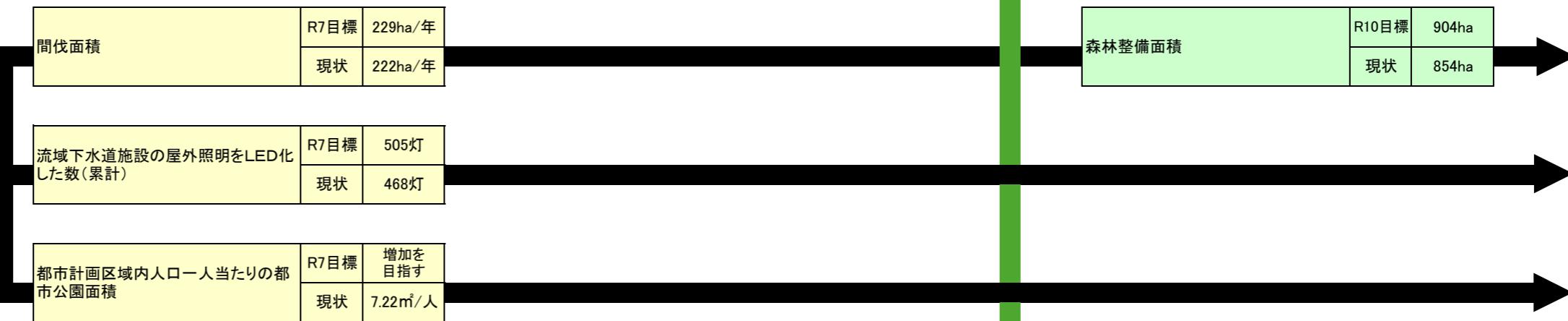
【ロジックモデル】

施策項目VI-1-① 地球温暖化対策の推進



3 溫暖化対策に資する地域環境の整備・改善

- ・グリーンインフラの整備推進
- ・海の吸収源対策の実施
- ・広域的な幹線道路ネットワーク等の整備促進(再掲)
- ・国道及び県道のバイパス・現道拡幅の整備推進(再掲)
- ・まちづくりを支援する道路の整備推進(再掲)
- ・自転車通行環境の整備推進(再掲)
- ・道路施設の維持管理と長寿命化(再掲)
- ・上下水道・工業用水道施設における温室効果ガス削減の取組推進
- ・企業間連携によるカーボンニュートラルコンビネートの推進(再掲)
- ・カーボンニュートラルポート形成の推進(再掲)
- ・森林の保全と整備の推進
- ・都市における緑の保全と緑化の推進(再掲)
- ・信号機の集中制御・系統化等による交通流の円滑化等



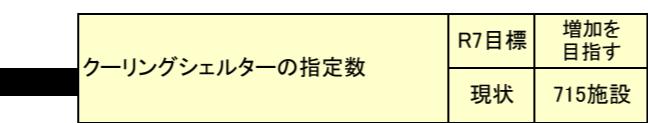
4 脱炭素型ライフスタイルへの転換

- ・県民や事業者等への再生可能エネルギーや省エネルギーに関する普及啓発の実施
- ・地球温暖化対策に関する学習の推進
- ・次世代自動車の普及促進とエコドライブの推進(再掲)
- ・テレワークやワーケーション等の多様な働き方の推進(再掲)



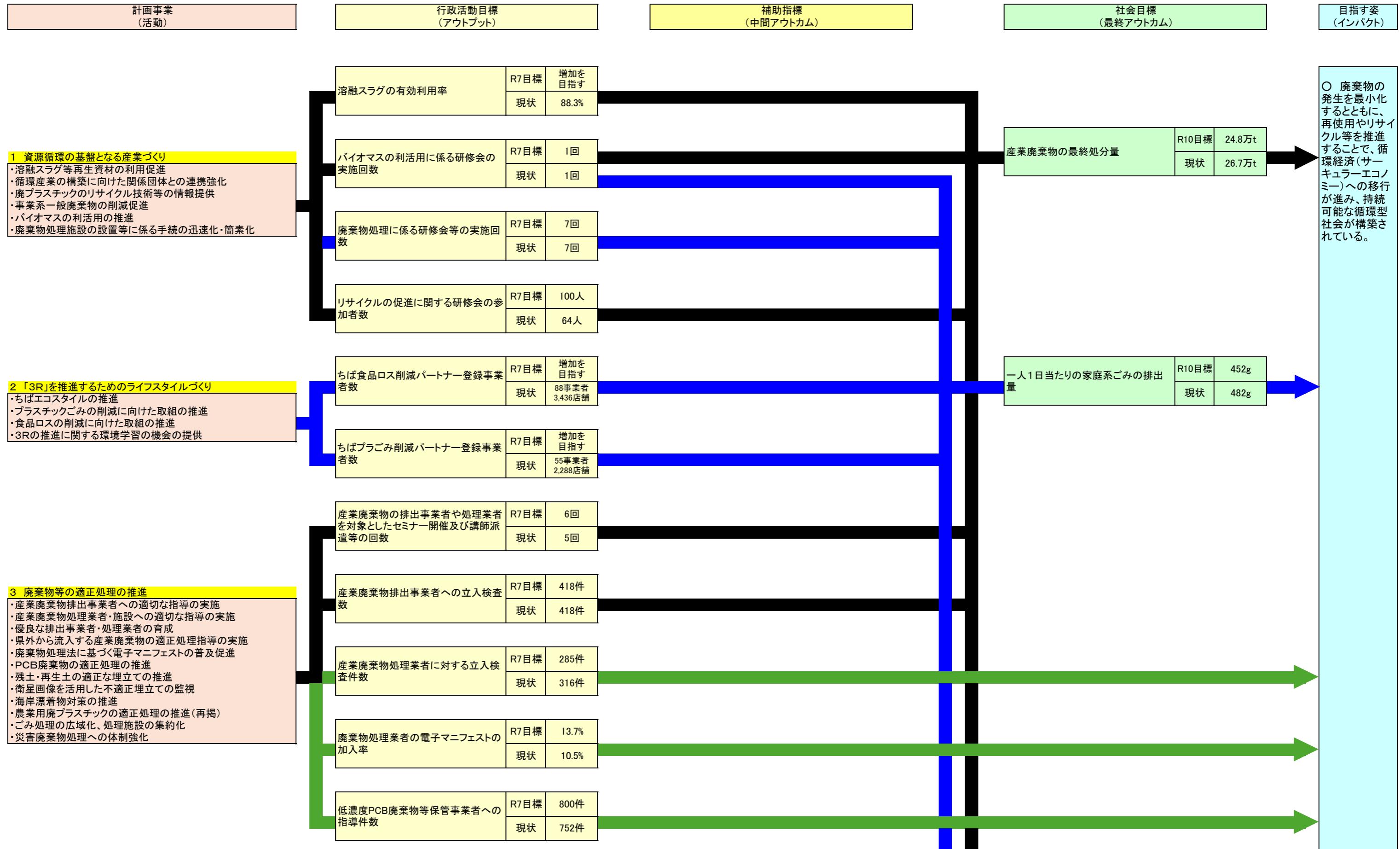
5 気候変動の影響に対する適応の推進

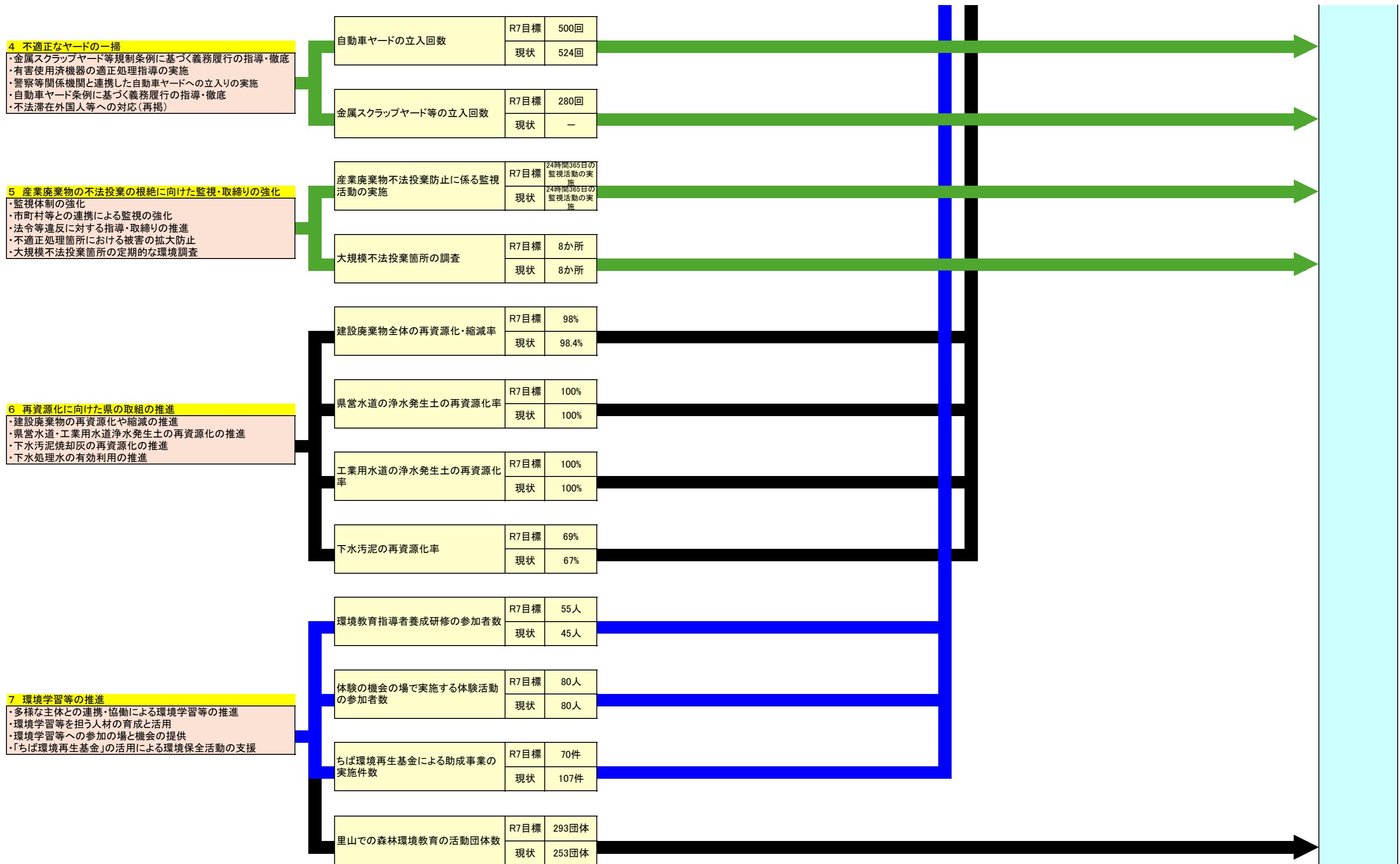
- ・千葉県気候変動適応センターによる気候変動影響及び適応に関する情報の収集・提供等
- ・河川・海岸整備の推進
- ・流域治水の推進(再掲)
- ・防災教育の推進(再掲)
- ・植物防疫対策の推進(再掲)
- ・夏の高温等の気候変動に適応する農業の推進(再掲)
- ・環境変動に適応する漁業の推進(再掲)
- ・都市における緑の保全と緑化の推進(再掲)
- ・熱中症対策の推進
- ・防災関係情報の提供(再掲)



【ロジックモデル】

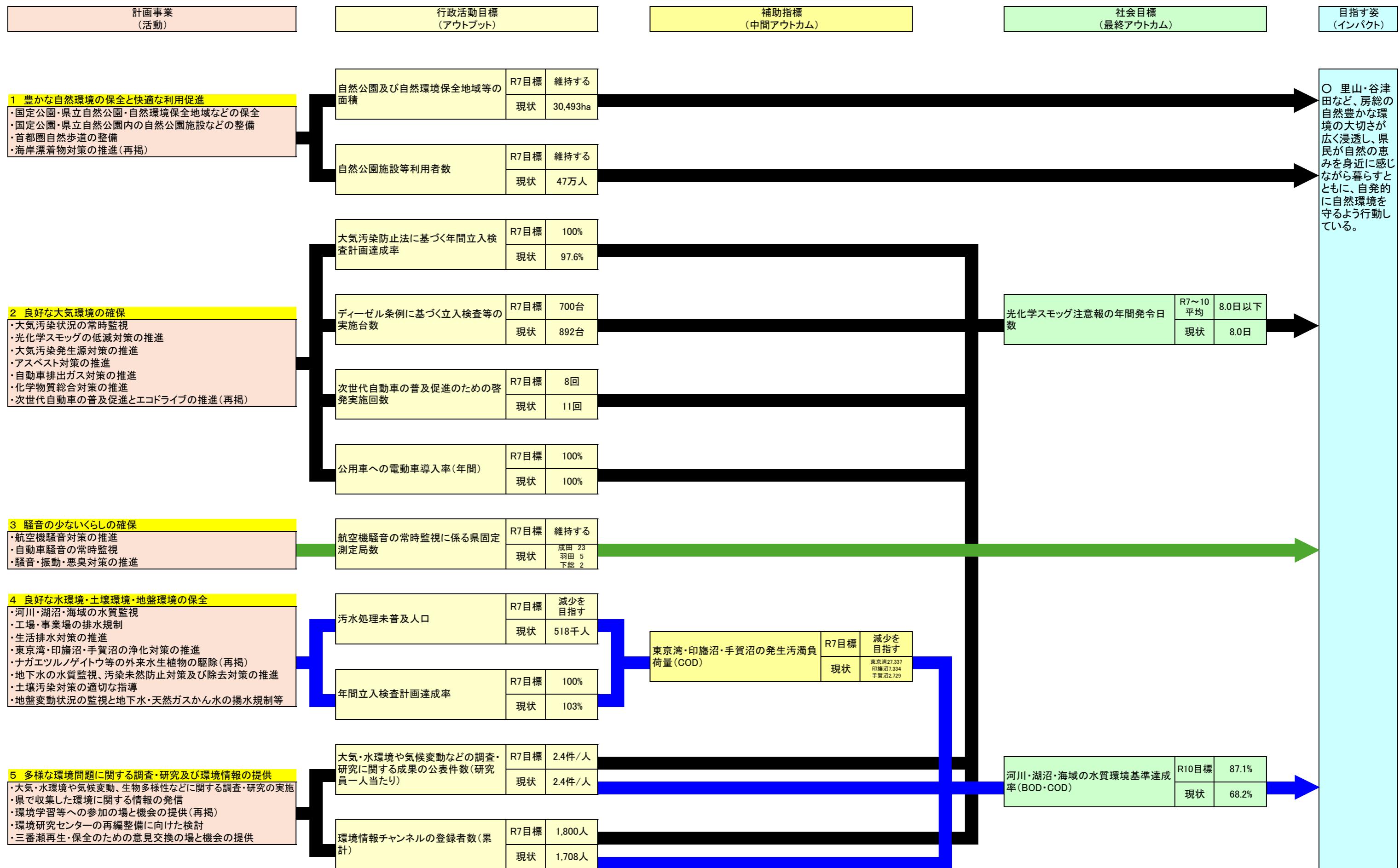
施策項目VI-1-② 循環経済(サーキュラーエコノミー)への移行





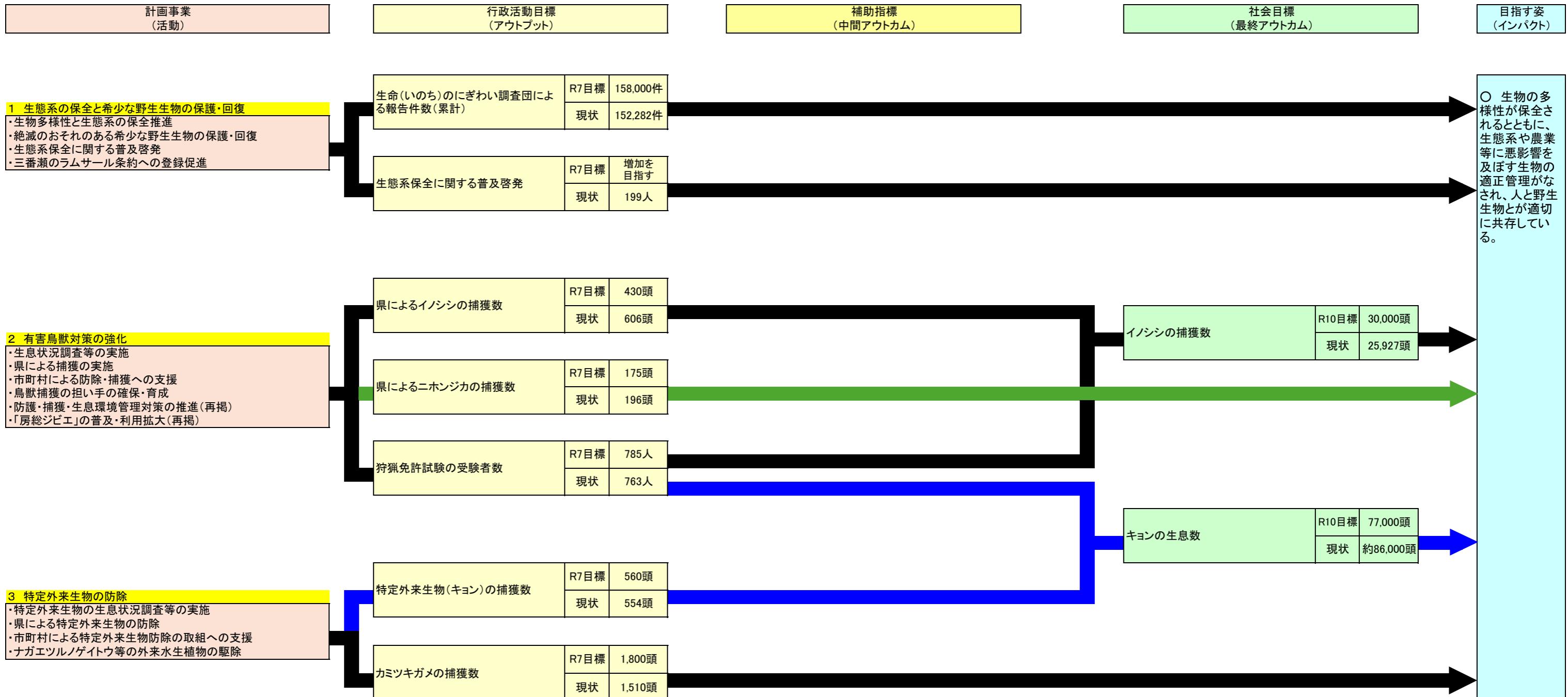
【ロジックモデル】

施策項目VI-2-① 豊かな自然環境と大気・水環境の保全



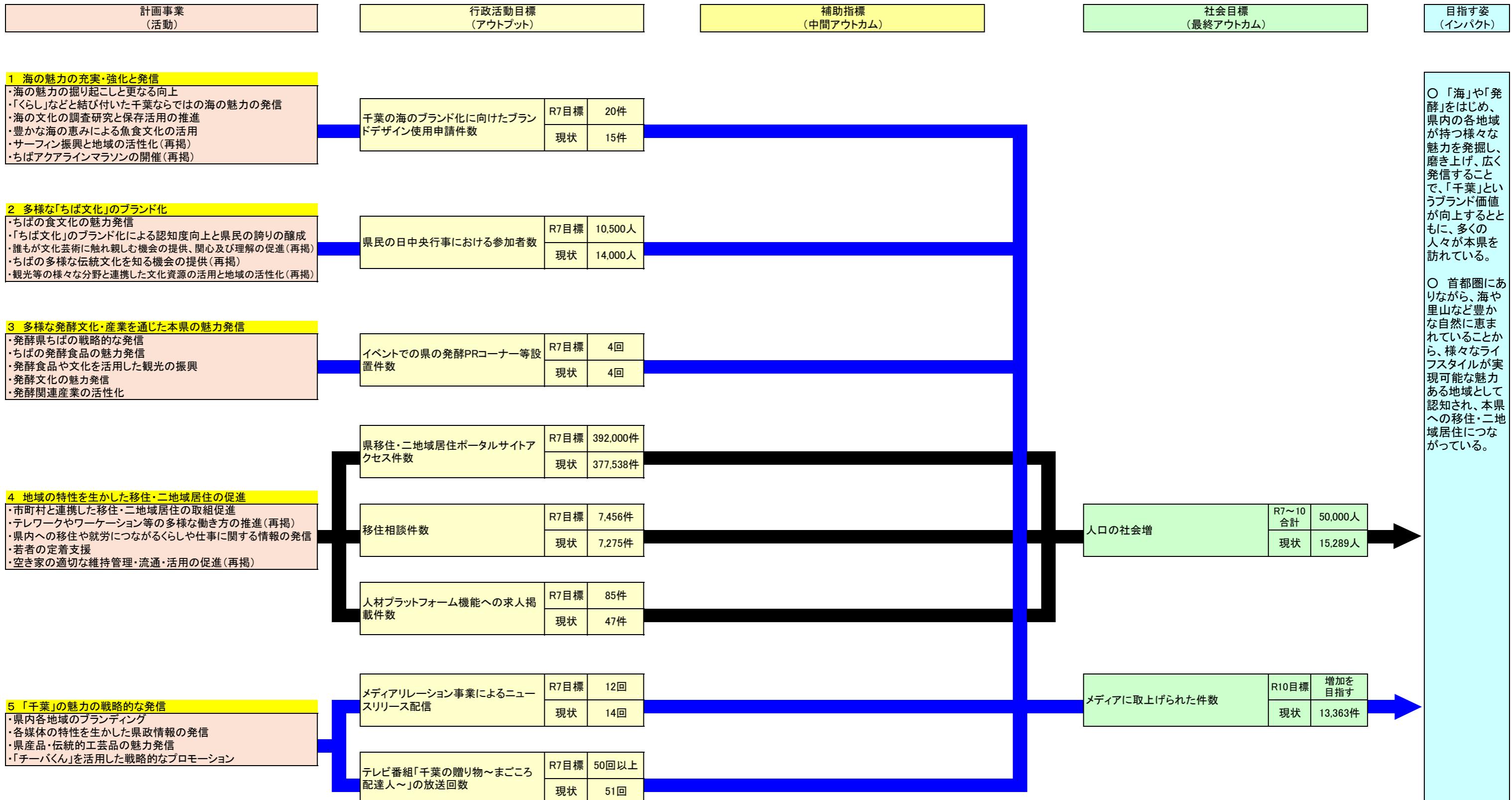
【ロジックモデル】

施策項目VI-2-② 野生生物の保護と適正管理



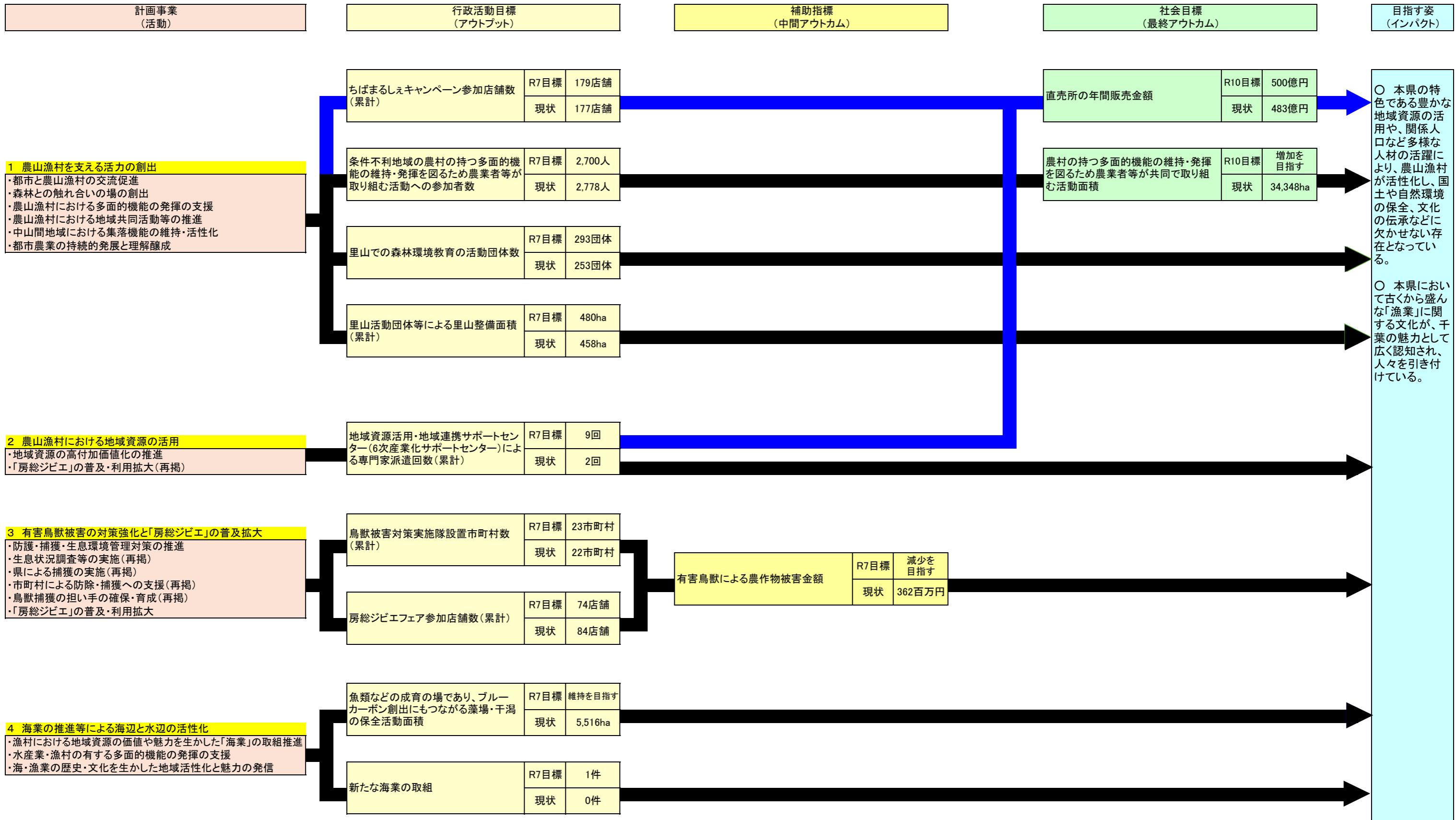
【ロジックモデル】

施策項目VI-3-① 半島性を活用した「千葉」のブランディングと移住・二地域居住の促進



【ロジックモデル】

施策項目VI-3-② 地域の特色を生かした農山漁村の活性化



【ロジックモデル】

施策項目VI-4-① 文化芸術の振興

計画事業
(活動)行政活動目標
(アウトプット)補助指標
(中間アウトカム)社会目標
(最終アウトカム)目指す姿
(インパクト)1 県民が文化芸術に親しむための基盤の整備・充実
・誰もが文化芸術に触れ親しむ機会の提供、関心及び理解の促進
・誰もが表現者として、生涯にわたり文化芸術を楽しむことのできる環境整備
・こども・若者の文化芸術活動の充実
・文化芸術活動の担い手やそれを支える人材の育成・支援・活用
・文化施設等(文化会館、美術館・博物館等)の機能の充実・多面的な活用
・持続可能な文化芸術活動の推進

「千葉・県民文化祭」参加人数	R7目標	増加を目指す
現状	54,294人	

県内公立文化会館・美術館・博物館及び県の主催事業で文化芸術を鑑賞した人数	R7目標	増加を目指す
現状	4,502,574人	

県立美術館・博物館の入館者数	R7目標	730,208人
現状	722,437人	

県内公立文化会館・美術館・博物館及び県の主催事業で文化芸術活動をした人数	R7目標	増加を目指す
現状	578,009人	

この1年間に文化芸術を鑑賞した県民の割合(オンラインでの鑑賞を含む)	R10目標	85.0%
現状	77.0%	

文化芸術に触れ、自ら取り組むための環境が整っていると思う県民の割合	R7目標	25.3%
現状	21.2%	

この1年間に鑑賞を除く文化芸術活動をした県民の割合(オンラインでの活動を含む)	R10目標	41.8%
現状	28.9%	

2 文化芸術を通じた連携・協働
・様々な関係者による文化芸術のネットワークの構築、文化交流の推進
・観光等の様々な分野と連携した文化資源の活用と地域の活性化
・部活動の地域展開の推進(再掲)

観光・国際交流・福祉等、文化芸術と他分野が連携する事業に取り組んだ市町村の割合	R7目標	51.2%
現状	48.1%	

3 多様な伝統文化の保存・継承・活用
・ちばの多様な伝統文化を知る機会の提供
・伝統文化の保存・継承
・文化財・文化的景観等の保存と活用
・伝統文化を担うこども・若者の育成
・ちばの食文化の魅力発信(再掲)

県主催の伝統文化事業の鑑賞者数	R7目標	増加を目指す
現状	579,369人	

県主催の伝統文化体験事業の参加者数	R7目標	増加を目指す
現状	73,972人	

4 ちばの強みを生かした文化芸術の創造・発信
・「ちば文化」のブランド化による認知度向上と県民の誇りの醸成(再掲)
・新たな「ちば文化」の創造

県民の日中央行事における参加者数	R7目標	10,500人
現状	14,000人	

○ 本県の豊かな自然と長い歴史の中で育まれてきた郷土芸能、食文化、伝統技術等、魅力あふれる地域の多様な伝統文化を継承していく体制が整っている。

○ 本県の特徴である、首都圏にありながら恵まれた自然環境を生かした野外イベントなどの文化芸術活動や、時代の流れの中で生まれた新しい文化芸術活動が活発化し、千葉の魅力として、人々を引き付けている。

○ 東京2020大会や千葉県誕生150周年の節目を契機に行われた様々な「ちば文化」の創造・発信が継続され、本県の持続的な発展につながっている。

【ロジックモデル】

施策項目VI-4-② スポーツの振興

